

UNIVERSITY OF MIYAZAKI 2022

Look at the world, Start with the Community

世界を視野に 地域から始めよう



Contents 目次

	Message from the President	0.5
Overview	Our Goals and Philosophy / Emblem / Brief History of UoM ·····	04
	Organization ·····	05
	Educational Strategy of the University of Miyazaki	06
	Research Strategies of the University of Miyazaki	07
International Conneration	Faculty of Medicine / Faculty of Engineering	ns
International Cooperation	Faculty of Agriculture / Center for International Relations	00
- W 10 1 10 1 1	Faculty of Agriculture / Center for international Relations	1.0
Faculties and Graduate Schools	Faculty of Education / Graduate School of Education ·····	10
	Faculty of Medicine / Graduate School of Nursing Science ·····	11
	Faculty of Engineering / Graduate School of Engineering ·····	12
	Faculty of Agriculture / Graduate School of Agriculture ······	13
	Faculty of Regional Innovation / Graduate School of Regional Innovation	14
	Interdisciplinary Graduate School of Medicine and Veterinary Medicine	
		13
	Interdisciplinary Graduate School of Agriculture and Engineering	
Centers and Institutes	University of Miyazaki Hospital	16
	University Library	
	Veterinary Teaching Hospital	
	Frontier Science Research Center	
	Center for Collaborative Research and Community Cooperation	
	Center for Animal Disease Control	
	Center for Education and Student Support	17
		17
	Center for Language and Cultural Studies	
	Health Care and Safety Center	
	Office of Support for Students with Disabilities	
	Center for the Promotion of Institutional Research	
	Information Technology Center	
International Activities	Center for International Relations / Overseas Office	10
international Activities		
	Islamic Center / International Dormitories / International Alumni Association	
	Guide for International Students at UoM / Student Categories and Admissions / \cdots	20-23
	Study and Funding / Short-term Student Exchange Program /	
	Campus Life – Support for International Students	
Message for Prospective Students	Message for Prospective Students	24-25
Data	Number of Staff and Students	26
Data	Number of UoM Exchange Students / International Students	27
	Number of John Exchange Students / International Students ************************************	20 20
	Academic Exchange Agreement / Student Exchange Memorandum	28-29
	Exchange of Researchers····	30
	University Budget	31
Campus Maps & Access	Campus Maps	32
	Getting to Miyazaki	33
	ooting to mijuzuit	
	学長挨拶	03
概要▶	大学の理念・目的(基本的な目標)/シンボルマークについて/沿革	04
概要▶	大学の理念·目的(基本的な目標)/シンボルマークについて/沿革	
概要▶	機構図	05
概要▶	機構図	05 06
	機構図 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	05 06
概要 ▶ 国際協力 ▶	機構図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	05 06 07
国際協力▶	機構図・・・・・ 宮崎大学の教育戦略・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
国際協力▶	機構図・・・・・ 宮崎大学の教育戦略・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
国際協力▶	機構図・・・・・ 宮崎大学の教育戦略・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
国際協力▶	機構図・・・・ 宮崎大学の教育戦略・・・・・ 宮崎大学の研究戦略・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
国際協力▶	機構図・ 宮崎大学の教育戦略・ 宮崎大学の研究戦略・ 医学部/工学部・ 教育学部/教育学研究科・ 医学部/看護学研究科・ 工学部/工学研究科・	
国際協力▶	機構図・	
国際協力▶	機構図・	
国際協力▶ 学部·大学院▶	機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部 農学部/国際連携センター 教育学部/教育学研究科 医学部/看護学研究科 工学部/工学研究科 農学部/農学研究科 農学部/農学研究科 地域資源創成学部/地域資源創成学研究科 医学獣医学総合研究科/農学工学総合研究科	
国際協力▶ 学部·大学院▶	機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部 農学部/国際連携センター 教育学部/教育学研究科 医学部/看護学研究科 工学部/工学研究科 農学部/農学研究科 地域資源創成学部/地域資源創成学研究科 医学獣医学総合研究科/農学工学総合研究科 医学部附属病院	
国際協力▶ 学部·大学院▶	機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部 農学部/国際連携センター 教育学部/教育学研究科 医学部/看護学研究科 工学部/工学研究科 農学部/農学研究科 農学部/農学研究科 地域資源創成学部/地域資源創成学研究科 医学獣医学総合研究科/農学工学総合研究科	
国際協力▶ 学部·大学院▶	機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部 農学部/国際連携センター 教育学部/教育学研究科 医学部/看護学研究科 工学部/工学研究科 農学部/農学研究科 地域資源創成学部/地域資源創成学研究科 医学獣医学総合研究科/農学工学総合研究科 医学部附属病院	
国際協力▶ 学部·大学院▶	機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部 農学部/国際連携センター 教育学部/教育学研究科 医学部/看護学研究科 工学部/工学研究科 地域資源創成学部/地域資源創成学研究科 医学獣医学総合研究科 医学獣医学総合研究科/農学工学総合研究科 医学部附属病院 附属図書館 農学部附属動物病院	
国際協力▶ 学部·大学院▶	機構図・ 宮崎大学の教育戦略・ 宮崎大学の研究戦略・ 医学部/工学部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
国際協力▶ 学部·大学院▶	機構図・	
国際協力▶ 学部·大学院▶	機構図・宮崎大学の教育戦略・ 宮崎大学の研究戦略・ 医学部/工学部・ 医学部/工学部・ 農学部/教育学研究科・ 医学部/養護学研究科・ エ学部/工学研究科・ 世域資源創成学部/地域資源創成学研究科・ 医学獣医学総合研究科 人民学工学総合研究科 医学部内属病院・ 附属図書館 関東部が展動物病院 フロンティア科学総合研究センター 産学・地域連携センター 産業動物防疫リサーチセンター	
国際協力▶ 学部·大学院▶	機構図・ 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
国際協力▶ 学部·大学院▶	機構図・宮崎大学の教育戦略・ 宮崎大学の研究戦略・ 医学部/工学部・ 医学部/国際連携センター教育学部/教育学研究科・ 医学部/国護学研究科・ エ学部/工学研究科・ 世域資源創成学部/地域資源創成学研究科 医学獣医学総合研究科 医学獣医学総合研究科/農学工学総合研究科 医学部附属病院・ 附属図書館 農学部附属動物病院 フロンティア科学総合研究センター 産学・地域連携センター 産業動物防疫リサーチセンター 教育・学生支援センター 多言語多文化教育研究センター	
国際協力▶ 学部·大学院▶	機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部 腰学部/国際連携センター 教育学部/教育学研究科 医学部/工学研究科 エ学部/工学研究科 世域資源創成学部/地域資源創成学研究科 医学獣医学総合研究科 医学獣医学総合研究科 医学部附属病院 附属図書館 農学部附属動物病院 フロンティア科学総合研究センター 産業動物防疫リサーチセンター 産業動物防疫リサーチセンター 産業動物防疫リサーチセンター 教育・学生支援センター タ言語多文化教育研究センター 安全衛生保健センター	
国際協力▶ 学部·大学院▶	機構図・宮崎大学の教育戦略・ 宮崎大学の研究戦略・ 医学部/工学部・ 医学部/国際連携センター教育学部/教育学研究科・ 医学部/国護学研究科・ エ学部/工学研究科・ 世域資源創成学部/地域資源創成学研究科 医学獣医学総合研究科 医学獣医学総合研究科/農学工学総合研究科 医学部附属病院・ 附属図書館 農学部附属動物病院 フロンティア科学総合研究センター 産学・地域連携センター 産業動物防疫リサーチセンター 教育・学生支援センター 多言語多文化教育研究センター	
国際協力▶ 学部·大学院▶	機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部 腰学部/国際連携センター 教育学部/教育学研究科 医学部/工学研究科 エ学部/工学研究科 世域資源創成学部/地域資源創成学研究科 医学獣医学総合研究科 医学獣医学総合研究科 医学部附属病院 附属図書館 農学部附属動物病院 フロンティア科学総合研究センター 産業動物防疫リサーチセンター 産業動物防疫リサーチセンター 産業動物防疫リサーチセンター 教育・学生支援センター タ言語多文化教育研究センター 安全衛生保健センター	
国際協力▶ 学部·大学院▶	機構図・宮崎大学の教育戦略・ 宮崎大学の研究戦略・ 医学部/工学部・ 悪学部/国際連携センター 教育学部/教育学研究科・ 医学部/王学研究科・ エブ等が/工学研究科・ 世域資源創成学部/地域資源創成学研究科・ 医学獣医学総合研究科 悪学部/属動の大学部/展学工学総合研究科 医学部附属動物病院・ 附属図書館 農学部附属動物病院 フロンティア科学総合研究センター 産業・地域連携センター 産業動物防疫リサーチセンター 養育・学生支援センター タ言語多文化教育研究センター 安全衛生保健センター ウェージャー・ ファー・ ファー・ ファー・ ファー・ ファー・ ファー・ ファー・ ファ	
国際協力 ▶ 学部·大学院 ▶ 付属施設等 ▶	機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部 医学部/国際連携センター 教育学部/教育学研究科 医学部/看護学研究科 エ学部/工学研究科 世域資源創成学部/地域資源創成学研究科 医学獣医学総合研究科 医学獣医学総合研究科/農学工学総合研究科 医学部的属病院 附の国際連携センター 産学・地域連携センター 産業動物防疫リサーチセンター 教育・学生支援センター 教育・学生支援センター 李全衛生保健センター 摩がい学生支援室 IR 推進センター 情報基盤センター	
国際協力 ▶ 学部·大学院 ▶ 付属施設等 ▶	機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部 農学部/教育学研究科 医学部/看護学研究科 エ学部/工学研究科 世域資源創成学部/地域資源創成学研究科 医学獣医学総合研究科 医学獣医学総合研究科/農学工学総合研究科 医学部附属動物病院 プロンティア科学総合研究センター 産業動物防疫リサーチセンター 産業動物防疫リサーチセンター 教育・学生支援センター 多言語多文化教育研究センター 安全衛生保健センター 安全衛生保健センター 同がい学生支援室 旧、推進センター 情報基盤センター 国際連携センター 国際連携センター 国際連携センター 国際連携センター	
国際協力 ▶ 学部·大学院 ▶ 付属施設等 ▶	機構図・宮崎大学の教育戦略・ 宮崎大学の研究戦略・ 医学部/工学部・	
国際協力 ▶ 学部·大学院 ▶ 付属施設等 ▶	機構図・宮崎大学の教育戦略・ 宮崎大学の研究戦略・ 医学部/工学部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
国際協力▶ 学部・大学院▶ 付属施設等▶	機構図・宮崎大学の教育戦略・ 宮崎大学の研究戦略・ 医学部/工学部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
国際協力▶ 学部・大学院▶ 付属施設等▶	機構図・宮崎大学の教育戦略・ 宮崎大学の研究戦略・ 医学部/工学部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
国際協力 ▶ 学部·大学院 ▶ 付属施設等 ▶ 国際交流 ▶ 留学をお考えの皆様へ ▶	機構図・宮崎大学の教育戦略・ 宮崎大学の研究戦略・ 医学部/工学部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
国際協力 ▶ 学部·大学院 ▶ 付属施設等 ▶ 国際交流 ▶ 留学をお考えの皆様へ ▶	機構図・宮崎大学の教育戦略・ 宮崎大学の研究戦略・ 医学部/工学部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
国際協力 ▶ 学部·大学院 ▶ 付属施設等 ▶ 国際交流 ▶ 留学をお考えの皆様へ ▶	機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部 展学部/国際連携センター 教育学部/教育学研究科 医学部/国際連携センター 教育学部/教育学研究科 世域資源創成学部が地域資源創成学研究科 医学獣医学総合研究科 医学獣医学総合研究科 医学部的属病院 附成時期物病院 フロンティア科学総合研究センター 産学・地域連携センター 産業動物防疫リサーチセンター 教育・学生支援センター を業動物防疫リサーチセンター 教育・学生支援をとなる 事情報を担いなる 関係は、対象育研究センター を全衛生保健センター 障がい学生支援室 IR 推進センター 情報基盤センター 国際連携センター/海外オフィス イスラーム文化研究交流棟/留学生用宿舎/留学生同窓会 宮崎大学への留学案内/学生の区分と入学手続き/日本留学の種類/短期研修プログラムによる学生相互交流/キャンパスライフ〜留学生支援〜 短期研修プログラムによる学生相互交流/キャンパスライフ〜留学生支援〜 短期研修プログラムによる学生相互交流/キャンパスライフ〜留学生支援〜 短期研修プログラムによる学生相互交流/キャンパスライフ〜留学生支援〜 短野をお考えの皆様へ(留学生メッセージ) 教職員数/学生数 協定校への派遣学生数・留学生数	
国際協力 ▶ 学部·大学院 ▶ 付属施設等 ▶ 国際交流 ▶ 留学をお考えの皆様へ ▶	機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部 大学部/国際連携センター 教育学研究科 医学部/国際連携センター 教育学研究科 大学部/工学研究科 大学部/工学研究科 大学部/工学研究科 大学部の大学・地域資源創成学研究科 大学部の関連 大学の研究を表示である。 大学にも、では、大学に、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学生を、大学では、大学生を、大学では、大学生を、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では	
国際協力 ▶ 学部·大学院 ▶ 付属施設等 ▶ 国際交流 ▶ 留学をお考えの皆様へ ▶	機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部・ 農学部/国際連携センター 教育学部 看護学研究科 医学部/工学研究科 世域資源創成学部/地域資源創成学研究科 医学部附属病院 ・ 対して、 大学の研究をは、 大学の研究をは、 大学の研究をは、 大学の関連技術を対象を と、 大学の関連技術を対象を に、 大学の関連技術を対象を に、 大学などの関係を に、 、	
国際協力 ▶ 学部·大学院 ▶ 付属施設等 ▶ 国際交流 ▶ 留学をお考えの皆様へ ▶ 資料 ▶	機構図・宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部 大学の研究科 医学部/国際連携センター 教育学部/教育学研究科 医学部/看護学研究科 世域資源創成学研究科 と学獣医学総合研究科 医学断院属別 に受獣医学総合研究科 医学部附属病院 附属図書館 農学部附属動物病院 フロンティア科学総合研究センター 産学・地域連携センター 産業・地域連携センター 産業・地域連携センター を学・地域連携センター を学・地域連携センター 障がい学生支援を 旧 推進センター 情報基盤センター 国際連携センター 国際連携センター 国際連携センター 国際連携センター 短学・の留学案内/学生の区分と入学手続き/日本留学の種類/短期研修プログラムによる学生相互交流/キャンパスライフ〜留学生支援〜短学をお考えの皆様へ(留学生メッセージ) 教職員数/学生数・留学生数・留学生数 協定校への派遣学生数・留学生数 学術交流協定/学生交流覚書 研究者交流 経理状况	
国際協力 ▶ 学部·大学院 ▶ 付属施設等 ▶ 国際交流 ▶ 留学をお考えの皆様へ ▶ 資料 ▶	機構図 宮崎大学の教育戦略 宮崎大学の研究戦略 医学部/工学部・ 農学部/国際連携センター 教育学部 看護学研究科 医学部/工学研究科 世域資源創成学部/地域資源創成学研究科 医学部附属病院 ・ 対して、 大学の研究をは、 大学の研究をは、 大学の研究をは、 大学の関連技術を対象を と、 大学の関連技術を対象を に、 大学の関連技術を対象を に、 大学などの関係を に、 、	



President Hiroshi Sameshima 宮崎大学長 鮫島 浩

Message from the President

"Look at the World, Start with the Community"

The University of Miyazaki (UoM) is a comprehensive national university that consists of the faculties of Education, Medicine, Engineering, Agriculture, and Regional Innovation. As the primary intellectual hub in Miyazaki Prefecture, we view our contribution to and deep ties with the local community as integral to UoM's own future as a university. At the same time, we strive to provide education of the highest quality to our undergraduate and graduate students, while conveying our achievements in the realm of education and research to the rest of the world, starting with our global partners. At the core of these activities is the firm belief that our university has a leading role to play on both the domestic and international stage.

UoM's innovative activities encompass education, research, community health care, and contributions to the local and international community. One characteristic of those activities is our promotion of interdisciplinary research and education that spans different academic

disciplines in order to build partnerships aimed at meeting the needs of our region. Examples that typify our unique approach include the establishment of the Interdisciplinary Graduate School of Agriculture and Engineering and the Interdisciplinary Graduate School of Medicine and Veterinary Medicine. In addition, UoM leverages its position as a comprehensive university to pursue interdisciplinary research in many fields. In particular, an emphasis is placed on research in the fields of life science, environmental science, food science, energy science, and science in the field of symbiosis. Our belief is that such research spanning multiple disciplines makes it possible to address the complex and diverse problems of the contemporary, which in turn contributes to the building of a more sustainable society that is in harmony with the local community.

In 2021, we formulated our future vision for the University of Miyazaki for the next ten to twenty years. In so doing we raised the aim as an institute of higher learning to foster the sort of leaders who will be able to respond to a new society and creative innovation based on unique perspectives. Our vision also clearly indicates the intention to continue our efforts as a regional university to solve the sort of problems on the local and global scale that correspond to Sustainable Development Goals (SDGs) despite Japan's aging population and declining birthrate that is reducing the number of new university students.

It also clearly states that even with the declining birthrate and aging population, and a declining population of 18-year-olds, we will continue our efforts as a regional university to solve global and global-scale issues as indicated in the SDGs, while fostering young human resources. However, we recognize that predicting the future, even in the short term, is difficult.

Meanwhile, the digital transformation of society through ICT and AI has created a new era in which it is possible to obtain the latest information from anywhere on the planet and to advance international collaboration through online conferences. In such an environment, it is important to not only adopt a broad, global view but also seek to bring significant changes to the world by means of smaller, focused efforts that improve daily life in the local community. This is precisely the philosophy expressed by our university slogan: "Look at the world, start with the community." Our aim, in other words, is to pursue education and research that starts from an awareness of what might seem trivial, everyday matters in order to bring the sort of positive changes to human activities that will contribute to significant improvements in the world.

As we move forward in the years ahead, the University of Miyazaki will continue to be a thriving institute of higher learning that maintains strong ties with the local community as it pursues the mission of fostering the sort of human resources who will be capable of leading their communities and being globally active.

学長挨拶

「世界を視野に 地域から始めよう」

宮崎大学は、教育学部、医学部、工学部、農学部、地域資源創成学部を持つ総合大学として活動する国立大学法人です。地域の知の最大拠点として、高度な教育を提供するとともに、地域に根差し、地域に貢献し、地域と密接に関係する運命共同体として活動し、その研究・教育成果を世界に発信しています。この活動の中核となる考えは、宮崎のことは宮崎大学が日本一、世界一でありたい、という強い信念です。

宮崎大学は特色ある教育、研究、地域貢献、国際貢献、地域医療を展開しています。その特色の一つは、異なる学問分野を融合した独特の研究と教育を進めて地域のニーズに合った連携を築くことで、即ち、異分野融合を推進している点にあります。その典型例は、農学工学総合研究科、医学獣医学総合研究科の設置などに表れており、宮崎大学の個性とも言えます。さらに、総合大学の強みを活かして、多くの分野で融合的学問を追求しています。本学が特に重点を置いている領域に、生命科学、環境科学、食の科学、エネルギー科学、共生分野の科学があります。異分野が共同して研究することで、現代の多様化し、複雑化した課題に取り組んでいけると考えており、ひいては持続可

能な社会を構築し、地域との共生社会を実現できると期待しています。

2021年、私たちは10年先、20年先を視野に入れた宮崎大学未来 Visionを策定しました。そこには、高等教育機関として、新たな社会に 対応し、新たな観点からイノベーションを創出し活用できるリーダー の育成を重要項目として挙げました。また、少子高齢化が進み、18歳 人口が減少する中にあっても、若手人材を育成しつつ、地方の大学と してSDGsに示される地球規模、世界規模の課題を解決する努力を 継続する旨を明示しました。しかしながら、近未来であっても将来のこ とは予測困難な状況です。一方、ICTやAIを活用したDX化がいよいよ 敷衍し、地球のどこにいても最新の情報を得られ、web会議を介して 国際的な連携も可能な時代が到来しています。このような環境では、 「地球規模」と大きく構えるだけに留まらず、地域の日常を変える小さな 取り組みを端緒に、世界を大きく変える、そういう視点も求められます。 まさに本学のスローガン「世界を視野に 地域から始めよう」に示さ れていることです。換言すれば、日常の些細事と思われる事柄の中か ら、世界を変えるような変革をもたらす研究に繋げる、あるいは大きな 行動変容に繋げる、そのような教育、研究を目指しています。

宮崎大学は、これからも地域社会に基盤を置き、地域をリードできる人材とグローバルに動くことのできる人材を育成し、輝き続ける大学でありたいと思います。

Our Goals and Philosophy 」大学の理念・目的(基本的な目標)

As we explore the profound truths of nature, inheriting and advancing science, culture, and craft as the fruit of human wisdom, our quest at UoM is to cultivate talented youth who will deliver answers to society's needs and our ever-changing times. It is our mission, as well, to enhance the culture and intellectual life of our region and the welfare of its citizens, in particular by creating interdisciplinary programs in the life sciences that will serve the welfare and prosperity of all humanity, fostering science to preserve the natural environment that is the origin of all life.

人類の英知の結晶としての学術・文化・技術に関する知的遺産の継承と発展、深奥な学理の探究を目指します。また、変動する時代及び社会の多様な要請に応え得る人材の育成を使命とします。更に、地域社会の学術・文化の発展と住民の福利に貢献します。特に、人類の福祉と繁栄に資する学際的な生命科学を創造するとともに、生命を育んできた地球環境の保全のための科学を志向します。

Emblem | シンボルマークについて



UoM's emblem is an artistic interpretation of the Chinese character 宫 (miya) from 宮崎 (Miyazaki). The two circles within the green field of the emblem remind students and faculty members of the merger between Miyazaki University and Miyazaki Medical College.

Together, the three white circles symbolize that the institution will grow year after year. The emblem's shape evokes the Earth, suggesting a youthful energy poised to soar upward andoutward into the world. The fields of green and blue represent the natural beauty of Miyazaki,its abundant trees, clear sky, and blue ocean.

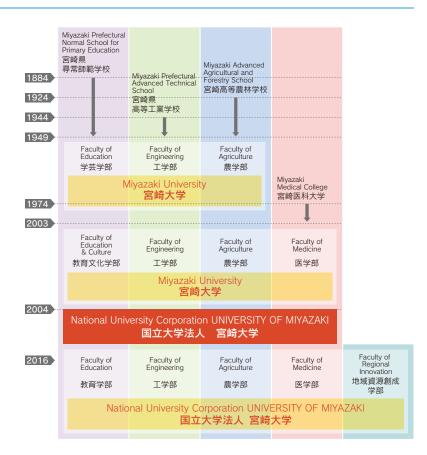
宮崎大学の頭文字「宮」をモチーフとして図案化し、さらにそれを擬人化したシンボルマークです。白い丸は、だんだん拡大される宮崎大学のイメージをあらわし、緑色の中の二つの丸は、統合した宮崎大学と宮崎医科大学を象徴するものとしてデザインしました。さらに、図形は、躍動する若人の姿と全体の円を地球としてとらえたグローバルにはばたく姿も表現しています。

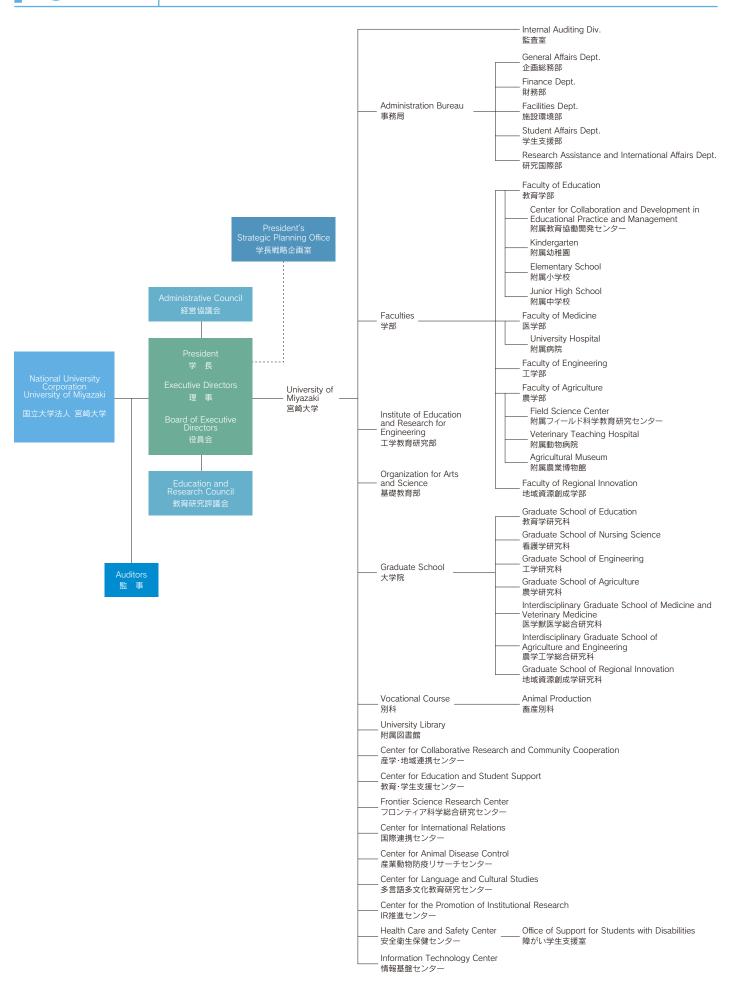
また、緑(グリーン)と青(ブルー)の2色は、自然豊かな宮崎の木々の緑と澄んだ空と海の青をイメージし、宮崎という地域にある本学のスクールカラーにふさわしい色として採用しました。

Brief History of UoM 」沿革

Miyazaki University was founded in 1949 through the merger of Miyazaki Advanced Agricultural and Forestry School, Miyazaki Prefectural Normal School for Primary Education, and the Miyazaki Prefectural Advanced Technical School. In October 2003, following the merger of Miyazaki University with Miyazaki Medical College (founded in 1974), the University of Miyazaki (UoM) was formed. In April 2004, UoM gained National University Corporation status. Currently UoM has five faculties: Education, Medicine, Engineering, Agriculture, and Regional Innovation.

宮崎大学は宮崎高等農林学校、宮崎県尋常師範学校、宮崎県高等工業学校から1949年に設立されました。一方、宮崎医科大学は1974年に設立されました。2003年10月には宮崎大学と宮崎医科大学が統合し、教育文化学部、医学部、工学部、農学部の4つの学部からなる新宮崎大学を創設しました。2004年4月には国立大学法人宮崎大学になり、さらに2016年には教育文化学部が教育学部となり、地域資源創成学部が新たに設置されました。





Educational Strategy of the University of Miyazaki - 宮崎大学の教育戦略-

Educational Policy of the University of Miyazaki 宮崎大学の教育方針

Educational Ideals 教育理念

Education of Humanity

The University of Miyazaki (UoM) nurtures high ethical standards and a strong sense of responsibility, helps students acquire a broad and extensive education and comprehensive skills of judgment, while also fostering a rich humanity.

高い倫理性と責任感を育むとともに、幅広く深い教養と総合 的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養する。

UoM helps students become acquainted with sciences for life and environmental conservation, and nurtures habits for on-site learning through extensive contact with nature and society.

生命や環境保全の科学に親しむとともに、広く自然や社会に 触れ、現場から学ぶ態度を育成する。

Education of Sociality

UoM fosters problem-solving ability, which can actively contribute to the growth of society in response to a wide variety of societal demands.

社会の多様な要請に対応して、社会の発展に積極 的に貢献できる課題解決能力を育成する。

UoM fosters the ability to think flexibly and logically, and to write and report in Japanese, in addition to communication skills in foreign languages.

柔軟で論理的な思考力を育成するとともに、日本 語による記述・発表の能力や外国語によるコミュニ ケーション能力を育成する。

UoM helps students acquire fundamental knowledge in their area of specialty and nurtures their ability to put it to practical use, and at the same time fosters students' deep interest in their area of specialty and develops their ability to pursue and solve issues and learn spontaneously.

それぞれの専門分野に関する基礎的知識を修得し、それらを応用で きる能力を育成するとともに、専門分野への深い興味を育み、課題探求 および解決能力、自発的に学習する能力を育成する。

UoM offers specialized education, which leads to the acquisition of new knowledge and develops comprehensive

新たな知の創造につながる専門教育を実施し、総合的判断力を育成 する。

Based on its slogan, "Look at the world, start with the community," the University of Miyazaki is aiming to inherit and develop the scientific and cultural heritage that is the fruit of human intelligence, while also seeking to develop profound academic theory, preserve the natural environment, and creating interdisciplinary life sciences. In pursuing those aims, we have embraced educational principles that strive to foster human resources capable of responding to the diverse needs of an ever-changing society.

宮崎大学は、「世界を視野に、地域から始めよう」のスローガンのもとに、人類の英知の結晶としての学術・文化に関する知的遺産の継承と発展、深奥なる学理の探究、地球環境の保全と学際 的な生命科学の創造を目指し、変動する社会の多様な要請に応え得る人材を育成することを教育の理念として掲げています。

Educational Characteristics 教育の特色

Education at the University of Miyazaki has the following three characteristics : 宮崎大学の教育の特色は、以下の3つです。

Community-based fostering of global human resources

地域で育てるグローバルな人材

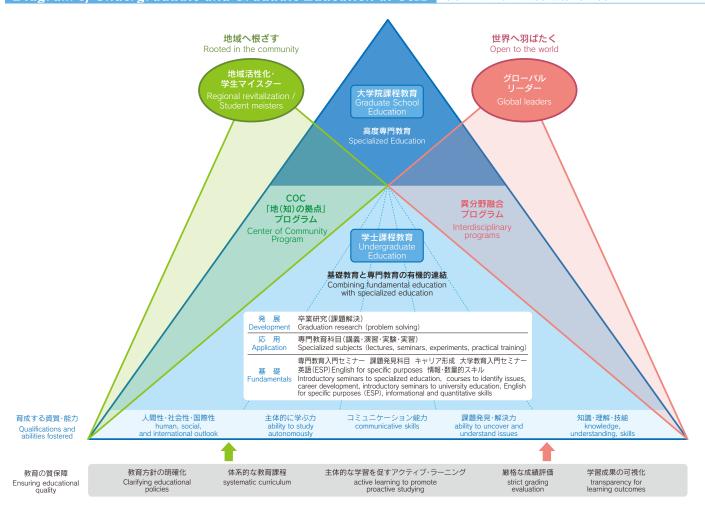
Combining different academic fields

異分野融合による教育

Academic environment that encourages autonomy

自立性を育てる学習環境の整備

Diagram of Undergraduate and Graduate Education at UoM 本学における学士・大学院教育の概念図



Research Strategies of the University of Miyazaki - 宮崎大学の研究戦略-

UoM Research Strategies and Promotion Systems 宮崎大学の研究戦略・推進体制

Goals of Research 研究目標

UoM seeks to contribute to the sustainable development of society and humanity on the basis of results generated through creative, cutting-edge research that engages with a range of issues confronting contemporary society in fields as medicine, agriculture, and the humanities as well as in interdisciplinary

宮崎大学は、現代社会が直面する医学、農学、工学、人文 社会学等の分野の諸問題に取り組み、独創的、萌芽的、学際 的あるいは融合的研究によって得られた成果を基盤に、人 類・社会の持続的発展に寄与する。

Research Strategies 研究戦略

In order to realize the goals outlined above, UoM bases its research on life science as well as environmental science, food science, and energy science, for a total of four key research areas. This research is conducted by the UoM faculties, departments, and centers, all working in close coordination with each other. We are striving to enhance our human resources in each research area in pursuit of being a fully coordinated organization.

上記の目標を達成するために、生命科学を基盤とし、環 境・食・エネルギーを加えた4つを本学の重点研究分野と し、学部、学科及び各センターがそれぞれの枠を超えて連 携融合して研究する。また、それぞれの研究分野に関わる 人的充実を図り、全学的な組織で推進する。

UoM Research Strategies (Life Sciences, Food Sciences, Energy)

宮崎大学における研究戦略(生命・環境・食・エネルギー)

We are engaged in research to grasp organic phenomena at both the micro-level of genetics and cells as well as the macro-level of individual organisms and groups, and use the results of that research to develop translational research as well as integrated applied research that combines the fields of medicine, engineering, and agriculture, thereby making a positive contribution to humanity and society.

生命現象を遺伝子や細胞レベルでミクロな視点から、個体や集団レベルでの ー マクロ的な視点まで幅広く捉え、その基礎研究成果をトランスレーショナルリ ーチや医学・工学・農学が連携した応用融合研究(福祉機器や生体材料等の 開発等)へ発展させ、その成果を人類の生存や社会の発展へ還元する。

We are contributing to sustainable environmental conservation through research activities involving a wide range of disciplines, including research at the species and genetic level on how to maintain bio-diversity; studies on persevering natural habitats in oceans and woodlands, and how to maintain the diversity of marine, forest, and mountain habitats: and research on preventing natural disasters and safeguarding environmental resources through such measures as water purification and recycling.

地球環境に関する幅広い専門領域を連結し、 生物種や遺伝子それぞれのレベルでの生物多 様性保全、海洋、森林、里地などでの生態系保 全の研究、自然災害に対する防災・減災、水資 源浄化やリサイクルなど資源環境型社会を実 現するための研究を通して、持続的な自然環 境の保全に貢献する。



We are conducting fundamental and applied research that can contribute to strengthening and expanding the overall process of handling, distributing, and selling the abundant agricultural and livestock resources of Miyazaki Prefecture, as well as research on the functionality and safety of food products, UoM is also helping to revitalize local industry and secure a sustainable supply of human and natural resources.

地域に優位性のある農水畜産物の生産から 加工、流通、販売に至るプロセスを強化・拡 大するための基礎・応用研究や食品の機能 性や安全性に関わる研究、あるいは産業動 物の国際的防疫に関する研究を通して、地 域産業の活性化あるいは人類の食糧資源 の持続的確保に貢献する。

We are contributing to a low-carbon, sustainable society through research that aims to expand the use of renewable energy, including such topics as the conversion, distribution, storage, and improved efficiency of solar power, biomass, and other types of renewable energy, as well as the increased use of innovative energy sources

太陽エネルギーやバイオマスなどの再生可能エネルギーの変換・流通、蓄電・ 蓄熱、省エネルギー、および革新的なエネルギー高度利用など、再生可能エネ ルギーの普及を図る研究開発を通して、持続可能な低炭素社会の実現に貢献 する。

国際連携課:海外との共同研究等に関する情報

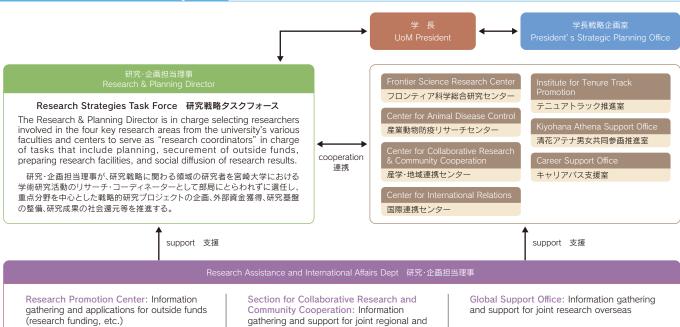
UoM Research Promotion System 宮崎大学における研究推進体制

研究推進課:外部資金(研究費等)に関する情報

収集·申請等

business research

する情報収集・支援



産学・地域連携課:地域・企業との共同研究に関

Faculty of Medicine

The Faculty of Medicine aims to further develop its global partnerships in order to serve not only as a community-leading healthcare specialist but also as a medical school that is open to the world.

SAKURA Science Exchange Program of the Japan Science and Technology (JST)

The Faculty of Medicine has carried out the SAKURA Science Exchange Program 17 times since 2014. Under this program, we have invited over 180 students, young researchers and teachers from India, Mongolia, Myanmar and Peru. Program participants attend lectures and take part in hands-on experiments at UoM laboratories to acquire

skills and techniques, while also visiting UoM Hospital and other facilities in Miyazaki Prefecture to observe Japanese health-care systems and management. The program offers participants a chance to learn more about Japanese science and technology and also experience the local culture. Some past participants have later returned to UoM as a research students to pursue their academic careers.





Participants on the Japan-Asia Youth Exchange Program in Science (Sakura Science Plan)

JICA's Knowledge Co-Creation Program (Group and Region-Focused Training): "Promotion and Technical Improvement of Team Medical Care in Perinatal Care"

In 2021, the Division of Maternal Nursing at the School of Nursing invited 8 healthcare professionals and administrative officers involved in Perinatal Care or Mother and Child Health from 5 countries; Burundi, El Salvador, Honduras, Mexico, and Pakistan, to the Training Program. (*Due to the spread of COVID-19 infection, the program was held via video-on-demand and online.)

The participants listened to some lectures about the Japan Obstetric Compensation System, perinatal system and support system for mother and child health in Miyazaki Prefecture, and the importance of team medical care for perinatal care from our faculty members and doctors working at the other hospitals in Miyazaki Prefecture.

The Division of Maternal Nursing at the School of Nursing has continuously offered Maternal and Child Health training since 2007 and has accepted a total of about 100 participants from more than 30 countries for its programs to date, which include the "Women's Health and Child Health Support for the Middle-Eastern Countries" and "Reinforcement of Public Administration and Community Partnership for Reproductive Health" programs.



Faculty of Engineering

Educational programs for international students in cooperation with overseas universities and the Japan International Cooperation Agency (JICA)

In order to provide higher engineering education to Indonesian nationals and local government officials, the Graduate School of Engineering has collaborated in the Linkage Master Double Degree Program (LP) with the National Development Planning Agency of Indonesia (BAPPENAS), the School of Architecture, Planning and Policy Development of the Institute Teknologi Bandung, and the Faculty of Engineering of the University of Gadjah Mada. As of September 2020, 47 students have earned a master's degree





under the program. The educational program receives financial support from JICA. In addition, the Graduate School of Engineering launched the Master's Double Degree Program (DDP) with the University of Brawijaya in October 2010. This program was subsequently introduced in Myanmar to the University of Computer Studies, Yangon; the University of Computer Studies, Mandalay; the University of Technology, Yatanarpon Cyber City; Yangon Technological University; the University of Yangon; and the University of Mandalay; as well as in Indonesia to the University of Gadjah Mada and the University of Riau. In addition to the DDP, the Master's Degree Special Program (SP) for international students has been ongoing since 2011. Our faculty has also been accepting many students in the ABE, the PEACE, and the JDS programs within the framework of JICA's human resource development.



Faculty of Agriculture

The Faculty of Agriculture is committed to educating and producing future leaders in scientific fields to address the global issues we face. Our faculty collaborates with other overseas universities and research institutions, starting with activities in Asia. The research networks enable students to work in an international collaborative context to enhance intellectual discovery and to acquire international communication skills. By conveying our research findings across the world, we aim to make a real contribution to global society.

Overseas office

We have established an office at Gadjah Mada University in Indonesia. This office provide advice and guidance to students and researchers who are interested in academic exchange.

PEACE and ABE initiative

UoM collaborates with the Japan International Cooperation Agency (JICA) to undertake the Project for the Promotion and Enhancement of Afghan Capacity for Effective Development (PEACE), African Business Education Initiative for Youth (ABE Initiative), Development of Core Human Resources in Agriculture Sector in Myanmar, and Pacific Leaders' Educational Assistance for Development of State (Pacific LEADS). These projects meet the need of developing human resources in the agriculture science field in Afghanistan, Africa, Myanmar, and the Pacific Islands.



Overseas activity and training

UoM has connections with other universities around the world, which allow students to improve their scientific capabilities. Various training and activities are available depending on the level of students, such as academic exchange, research discussions with other scientists, and project implementation. UoM offers an intensive English-language program involving overseas training preparation led by native speakers. When students complete their activity or training, they are required to report on their work and take part in a seminar to develop their research.



Center for International Relations

Arsenic Mitigation Project in Asia by UoM

UoM was involved in the certification committee for patients of chronic arsenicosis in the mining area of Toroku in Takachiho Village, Miyazaki Prefecture, as well as medical examinations and patient support. UoM started the survey and research activities for arsenic pollution mitigation in Bangladesh in 1996 because symptoms of chronic arsenicosis were reported in parts of Asia, starting around 1995. Based on know-how gained from its research activities and cooperation with NGOs for more than 10 years in Bangladesh, UoM carried out a five-year arsenic mitigation project supported by JICA in the state of Uttar Pradesh, India, starting in 2008.

From 2015, UoM carried out the "Project for Promoting Environmental Health in Arsenic Contaminated Areas of Myanmar" in Thabaung Township, Ayeyarwady Region. The project's aim was to promote the implementation of an environmental health system by collecting and analyzing basic health data and taking countermeasures against unsanitary drinking water in the arsenic contaminated areas. A safe water supply system was introduced in two villages of the project area, and various awareness-raising activities for arsenic mitigation and environmental education were carried out. The overall goal for the project is to develop a system to supply safe drinking water and promote environmental health in places outside the project area.

Moving forward, UoM will continue to implement arsenic mitigation activities, in tandem with Asian countries facing the problem of arsenic pollution, drawing on the experience and the knowledge gained to up to now.







Faculty of Education 教育学部

http://www.miyazaki-u.ac.jp/edu/

Policy of the Faculty/学部の方針

The Faculty of Education trains prospective teachers for elementary schools, junior high schools, kindergartens, and special needs schools, with

the aim of fostering innovative teachers capable of supporting children's growth. In line with these goals, for the courses of study listed below, we select suitable students who have deep interests in children, communities, teaching, and understanding of humanity.

教育学部では、新しい時代を切り拓き、子どもたちの成長を支え続けることのできる小学校・中学校・幼稚園・特別支援学校などの先生を養成します。したがって、各コースの教育を受けるにふさわしい基礎学力を備えるとともに、子どもや地域社会、教科の指導、人間への理解に関心の高い人を受け入れるために、多様な入学者選抜を行います。





Faculty Departments/課程

Teacher Training Program 学校教育課程

Unified Elementary and Junior High School Education Course

小中一貫教育コース

Elementary School Major

小学校主免専攻

Junior High School Major

中学校主免専攻

Teaching Profession Practice Basic Course

教職実践基礎コース

Developmental Support Education Course

発達支援教育コース

Understanding Children Major

子ども理解専攻

Special Needs Education Major

特別支援教育専攻



Graduate School of Education / 教育学研究科

The Graduate School of Education at the University of Miyazaki was established for the professional development of students enrolled in the Professional Teacher Development Major course to become school teachers. Our aim is to train school leaders, mid-career teachers, as well as novices so that they can access practical and applied skills to enhance their abilities. In order to accomplish this goal, classes and course work taught by researcher and practitioner professors are offered to students, both inside and outside our campus, including the University of Miyazaki-affiliated school and participating public schools. Our curriculum fosters the professional knowledge and abilities of students so that they can solve various issues facing schools.

宮崎大学大学院教育学研究科は、教職大学院として、教職実践開発専攻を設置しています。教職実践開発専攻は、学校教育に関する高度な理論、実践力及び応用力を身に付けたスクールリーダーや中堅教員、力量のある新人教員を養成することを目的としています。この目的を達成するため、研究者教員と実務家教員との協働による授業、附属学校や連携協力校における教育実習などを通じて、学校の諸問題を協働的に解決できる教員としての資質・能力を育成します。

Professional Degree 専門職学位課程【教職修士(専門職)】

Professional Teacher Development Major 大学院 教職実践開発専攻

The Course for Sophistication of Teaching Profession 教職実践高度化コース

Educational Administration and School Management / Student Guidance and Counseling / Curriculum and Class Study 「教育行政・学校経営分野」/「生徒指導・教育相談分野」/「教育課程・授業研究分野」

The Course for Sophistication of Subject Education 教科領域指導力高度化コース

The Course for Special Needs Education 特別支援教育コース

Faculty of Medicine 医学部

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/english/

Policy of the Faculty / 学部の方針

The University of Miyazaki's Faculty of Medicine was established in October 2003 through the merger of Miyazaki University with Miyazaki Medical College, which was founded in 1974.

Our faculty aims to serve as a community pillar of education and research in the field of medicine and medical science. We are dedicated to imparting to our students the advanced medical and nursing skills needed for them to become well- rounded doctors, nurses, and researchers, while also fostering the ethical principles of placing the utmost priority on human life. In this way, we continue to strive to contribute to the welfare of society and uphold the highest professional standards.

医学部は、昭和49年に設立された宮崎医科大学を前身とし、平成15年10月に宮崎大学と統合し、宮崎大学医学部となりました。 医学部は、「地域における医学・医療の中心的な役割を果たすと同時に、進歩した医学・看護学を修得せしめ、人命尊重を第一義と し、医の倫理に徹した人格高潔な医師、医学研究者、看護職者及び看護学研究者を育成し、国内外の医学及び看護学の水準向上と社会 福祉に貢献すること」を使命としています。



F aculty Departments/学科

School of Medicine

医学科

School of Nursing

看護学科

G raduate School of Nursing Science 看護学研究科

In order to respond to the changing needs of local communities and of an increasingly complex society, while keeping pace with the ever-evolving specialization of nursing, UoM's Graduate School of Nursing Science aims to foster researchers, educators, and practitioners who can develop their potential and play an active role in the field of health and medical welfare. The graduate school comprises the Training Course for Researchers and Training Course for Advanced Practice Nurses, as well as a special course for midwife candidates preparing for the examination in Training Course for Advanced Practice Nurses.

看護学研究科は、変化する地域社会及び複雑化する社会情勢のニーズ、拡大・専門化する看護学及び看護学教育の必要性から、学部教育を基に更なる能力開発と同時に保健医療福祉の現場で広く活躍できる看護研究者・教育者・実践者・指導者を育成することを目的としています。研究者育成コース及び実践看護者育成コースの2つのコースを設置し、実践看護者育成コースには助産師免許受験資格を得るコースも設置しています。

Master's Course 修士課程

Master's Course for Nursing Science 看護学専攻

Training Course for Researchers 研究者育成コース

Training Course for Advanced Practice Nurses 実践看護者育成コース



Faculty of Engineering 工学部

https://www.miyazaki-u.ac.jp/tech/english/index_en.htm

Policy of the Faculty/学部の方針

Faculty of Engineering aims to be a faculty that is deeply rooted in Miyazaki Prefecture while keeping a global perspective. The faculty focuses

on the education of personnel who will be able to rise to new challenges with the accelerating progress of science and technology. It also emphasizes internationally acclaimed academic research, while ensuring a substantial intellectual contribution to the local community through the development of local industries. The new single department with six programs has been set under the faculty after reorganization in FY2021 by maintaining our goal of fostering specialists with generic skills. This serves the purpose of developing scientific technology that can meet the challenges of the global environment in the 21st century. Further, we cultivate a high level of awareness of humanitarian issues among our students.

工学部は、"宮崎に根ざし、世界に目を向けた工学部"を目標に、今後ますます進展する高度な科学技術に挑戦し、創造することができる人材の育成につとめ、国際的にも評価される質の高い学術研究活動を進めています。さらに、地域産業の発展を推進することにより、地域社会に知的な貢献をすることにつとめています。2021年4月に工学部は、1学科6つのプログラム編成に変わることになっており、(私どもは)ジェネラリティーのあるスペシャリストの育成を目指します。21世紀の地球環境と共生できる科学技術の創造と、それを担う人間性豊かな人材の育成を目指します。



Department of Engineering/工学科

Applied Chemistry Program

応用物質化学プログラム

Civil and Environmental Engineering Program

土木環境工学プログラム

Applied Physics and Engineering Program

応用物理工学プログラム

Electrical and Electronic Engineering Program

電気電子工学プログラム

Mechanical Engineering Program

機械知能工学プログラム

Information and Communication Technology Program

情報通信工学プログラム



Graduate School of Engineering / 工学研究科

The University of Miyazaki's Graduate School of Engineering is an advanced education and research institution in the field of engineering that aims to develop scientists and engineers with cutting-edge expertise and promote academic research.

Lectures in English are delivered in the international programs such as the Master Double Degree Program and the Master Degree Special Program in order to keep our professional education at a global standard.

工学研究科は、宮崎地域における高度な工学的学術の教育・研究機関として、高度で専門的な科学技術者を育成するとともに、学術研究を推進しており、多くの学生を社会に送り出しています。

また、ダブルディグリープログラムや留学生特別プログラムを履修する外国人留学生のために英語による講義を開設するなど、教育の国際化を進めています。

Master's Course 修士課程

Department of Engineering 工学専攻

Environmental Systems Course 環境系コース

Energy and Electronics Course エネルギー系コース

Mechanical Systems and Informatics Course 機械・情報系コース

Faculty of Agriculture 農学部

https://www.miyazaki-u.ac.jp/agr/english/

P olicy of the Faculty/学部の方針

The mission of agriculture in the 21st century is to overcome global food problems and environmental crises through advancing the production,

development, and utilization of biological resources for maintaining a coexistence with all life on Earth. Situated in the heart of the food production base in Japan, the Faculty of Agriculture has contributed to agricultural development and aims to find solutions to issues related to food, environment, and life, while creating a peaceful and affluent local community. Along with addressing such issues common to humankind, the faculty will make further academic contributions to the development of agriculture, not only in Japan but also worldwide, particularly in Asia, Africa, and Latin America, while also fostering individual creativity.









21世紀の農学の使命は、わたしたち人類の生存と他の生物との共存・共生を図りながら、有用な生物資源の生産・開発・利用を促進することで、地球規模での食料問題と環境危機を克服することです。日本の食料生産基地に位置し、今日までの農業発展に貢献してきた宮崎大学農学部は、「食料・環境・生命問題の解決」と「平和で潤いのある地域社会の構築」という人類共通の目標を掲げています。今後、日本だけでなく、アジア、アフリカ、中南米など世界の農業発展に向けての一層の学術貢献と、主体性と創造性に富んだ個性豊かな人材を輩出する責務が果たせると信じています。

F aculty Departments/学科

Agricultural and Environmental Sciences 植物生産環境科学科

Forest and Environmental Sciences 森林緑地環境科学科

Biochemistry and Applied Biosciences 応用生物科学科

Marine Biology and Environmental Sciences 海洋生物環境学科

Animal and Grassland Sciences

畜産草地科学科

Veterinary Sciences

獣医学科



Graduate School of Agriculture / 農学研究科

The Previous graduate school was reorganized into the new Graduate School of Agriculture (comprising six courses) in the 2014 academic year. The objectives of the Graduate School of Agriculture are to enhance the specialized nature of the faculty's education; resolve domestic and international issues related to food, the environment, resources, and life; and contribute to the creation of a sustainable and productive society that exists in harmony with the natural environment. It also aims to develop professional technicians and researchers from many different countries who possess sophisticated knowledge in the field of agriculture and the ability to put this expertise to practical use.

大学院は、2014年度に新しい農学研究科(6コースからなる)に再編されました。農学研究科の目的は、教員の教育の専門性を高めることです。食料、環境、資源、生活に関する国内および国際的な問題を解決し、そして、自然環境と調和して存在する持続可能な生産的な社会の創造に貢献します。また、農業分野における高度な知識と、この専門知識を実用化する能力を備えた多くの異なる国の専門技術者と研究者を育成することも目指しています。

Master's Course 修士課程

Graduate School of Agriculture 農学専攻

Course of Agricultural and Environmental Sciences 植物生産環境科学コース

Course of Forest and Environmental Sciences 森林緑地環境科学コース

Course of Biochemistry and Applied Biosciences 応用生物科学コース Course of Marine Biology and Environmental Sciences 海洋生物環境科学コース

Course of Animal and Grassland Sciences 畜産草地科学コース

International Course of Agriculture^{*} 農学国際コース*

※In principle, each course curriculum ※コースのカリキュラムをis conducted entirely in English 原則全て英語で実施

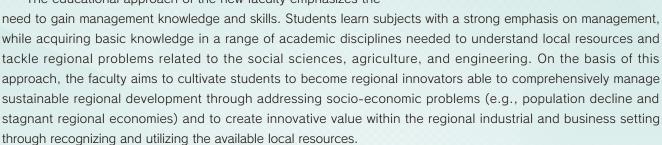
Faculty of Regional Innovation 地域資源創成学部

http://www.miyazaki-u.ac.jp/atrium/

Policy of the Faculty/学部の方針

The Faculty of Regional Innovation has generated high expectations for its objective of contributing to regional and industrial development on the basis of the natural and social resources as well as the accumulated knowledge and expertise of the University of Miyazaki.

The educational approach of the new faculty emphasizes the



地域資源創成学部(略称「地域学部」)には、宮崎大学の強みや今まで積み上げてきた知見及び専門性を踏まえ、地域および産業づくりを担っていくことができる人材養成について強い期待が寄せられています。

地域学部は、マネジメントの知識・技能を得る教育アプローチを重視します。学生は、マネジメント力を強化する科目を学びますが、その際、地域に存在する課題に密接に関係する社会・人文科学、および農学・工学分野を含む多角的な領域の基礎知識も習得します。このアプローチをもって、地域学部は、社会経済的課題(例えば人口減少や地域社会経済の衰退)を解決しつつ持続可能な地域づくりを包括的にマネジメントでき、地域資源を理解し利活用しつつ地域産業やビジネス上において、革新的な価値を創出できる地域創成人材を輩出することを目的とします。



Business Management Course

Regional Management and Development Course

企業マネジメントコース

地域創造コース

Regional Industry Creation Course

地域産業創出コース



Graduate School of Regional Innovation / 地域資源創成学研究科

The Graduate School of Regional Innovation promotes advanced educational research comprising three areas: regional studies, theories of regional resources, and theories of regional-resource utilization. The school aims to generate new creative value from advanced utilization of the various resources that exist in the region. In addition, through this value creation, the aim is to foster highly skilled human resources capable of promoting and realizing the formation of strong and sustainable local communities that can respond to future changes in the socio-economic environment, such as the trends toward declining populations, increasing centenarians, and a more decentralized society.

地域資源創成学研究科は、地域学、地域資源論、地域資源利活用論の3つの領域で構成される高度な教育研究を推進し、地域に賦存する多様な地域資源の高度な利活用から新しい創造的価値の創出を目指します。さらに、こうした価値創出を通じて、人口減少社会、人生100年時代、地方分権社会等の今後の社会経済環境の変化に対応可能な強靭で持続可能な地域社会の形成を推進・実現することが可能な高度人材の育成を図ることを目的としています。

Master's Course 修士課程

Department of Regional Innovation 地域資源創成学専攻

Interdisciplinary Graduate School of Medicine and Veterinary Medicine

医学獣医学総合研究科 http://www.miyazaki-u.ac.jp/ijudaigakuin/en_index.html

The Interdisciplinary Graduate School of Medicine and Veterinary Medicine is committed to contributing to the development of life science and the improvement of social welfare. We offer a doctoral course aiming to produce highly specialized

professional doctors, veterinarians, researchers, and educators in all disciplines. The graduate school also offers a Master's course aiming to train medical technicians who engage in advanced medical treatment, research, and education in medicine, veterinary medicine and medical sociology.

医学獣医学総合研究科では、高度専門職業人としての医師、獣医師及び研究者・教育者の養成を主眼とした博士課程と、医学・獣医学分野及び医療社会学分野の研究と教育において高度な診療支援に携われる人材の養成を主眼とした修士課程を設置し、生命科学の発展と社会の福祉の向上に寄与することを使命としています。



Doctoral Course 博士課程

Medicine and Veterinary Medicine 医学獣医学専攻

Training Course for Physicians with Professional Skills 高度臨床医育成コース

Training Course for Veterinarians with Professional Skills 高度獣医師育成コース

Training Course for Researchers of Medical and Veterinary Science 研究者育成コース

Moster's Course 修士課程

Medical and Veterinary Sciences 医科学獣医科学専攻

Training Course for Researchers of Life Science 生命科学研究者育成コース

Training Course for Healthcare and Service Innovation Professionals 高度医療関連技師・サービスイノベーション人材養成コース

Training Course for Bioethics Coordinator 生命倫理コーディネーターコース

Interdisciplinary Graduate School of Agriculture and Engineering

農学工学総合研究科 http://www.miyazaki-u.ac.jp/tech/agr_eng/english/index.html

The Interdisciplinary Graduate School of Agriculture and Engineering is founded on the disciplines of agriculture and engineering and their collaborative achievements. By preparing students with an

integrated comprehension grounded in comprehensive knowledge and a capacity for high-level research, we are working to deepen the field of collaborative agricultural engineering education and research and meet the demand for advanced technical specialists or researchers who will contribute to a society built on knowledge and technology.

農学工学総合研究科は、農学と工学の学問的背景と連携協力の実績を踏まえて、農学と工学が連携・融合した教育研究領域の深化を図り、広範な知識に基づいた総合的判断力と高度な研究能力を備え、技術・知識基盤社会の形成に資する高度専門技術者・研究者の養成を目指します。



Doctoral Course 博士後期課程

Department of Environment and Resource Sciences 資源環境科学専攻

Department of Applied Biological Science 生物機能応用科学専攻

Department of Materials and Informatics 物質·情報工学専攻

Course of Environmentally Harmonized Technology and Science

環境共生科学教育コース

Course of Sustainable Agricultural Technology and Science 持続生産科学教育コース

Course of Bioscience and Biotechnology 生命機能科学教育コース

Course of Marine Biological Science 水域生物科学教育コース

Course of Advanced Materials and Energy 新材料エネルギー工学教育コース

Course of Production Technology 生産工学教育コース

Course of Computer Science and Bio-informatics 数理情報工学教育コース



University of Miyazaki Hospital 医学部附属病院

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/hospital/for-foreigners/



The 632-bed hospital of the Faculty of Medicine, established in 1977, is the primary regional medical center of Miyazaki Prefecture. In 1994, the hospital was designated an advanced treatment hospital, and in 2008 it was recognized as the prefecture's main hospital for cancer treatment. In 2012, the emergency and critical care center was established along with the commencement of an air ambulance service, thereby providing the latest advanced treatment.

The University of Miyazaki Hospital has been the designated administrator for managing and operating Miyazaki City TANO Hospital. In this role, we provide community-based medical care and educational programs focusing on family medicine (including primary care) and community health.

医学部附属病院は、1977年に開設され、総病床数632を有する宮崎県における中核的医療機関です。1994年には特定機能病院の指定、2008年には都 道府県がん診療連携拠点病院の認定を受け、2012年には救命救急センターの設置及びドクターへリの運航を開始し、最新の高度な医療を提供しています。 また、宮崎市田野病院の指定管理者として管理・運営を担っており、地域に密着した医療の提供とともに、総合診療や地域医療等における教育プログラムを 実践しています。

University Library

附属図書館

http://opac.lib.miyazaki-u.ac.jp/?lang=english



The University Library comprises the Main Library at the Kibana Campus and the Medical Branch Library at the Kiyotake Medical Campus. Their combined collection numbers around 630,000 books. Recently, the University Library has improved its information service system, including electronic journals and an online academic repository.

附属図書館は、本館(木花キャンパス)と医学分館(清武キャンパス)から構成されています。附属図書館は長年に わたって、蔵書(約63万冊)を蓄積するとともに、近年はインターネットを介しての電子ジャーナルや学術情報リポ ジトリによる情報提供体制を整えています。

Veterinary Teaching Hospital

農学部附属動物病院

The Veterinary Teaching Hospital was established in 1953 with the aim of promoting clinical practice, education and research of veterinary medicine. Since then, the hospital has contributed much to the realization of that purpose. The hospital was expanded and strengthened by the addition of modern facilities such as ultrasound and X-ray equipment for small and large animals, etc., in order to meet the increased demands for current research development and advanced veterinary care.

農学部附属動物病院は、獣医学の臨床、教育、研究に資す る目的で、1953年に開設され、以来、その目的に沿って 様々な貢献を果たしてきました。1985年には、新しいキャ ンパスに移転し、現代のニーズに応じるため大動物・小動 物対応の超音波検査装置、X線CTなどの新しい設備を導 入し、最新の獣医診療を行っています。

Frontier Science Research Center フロンティア科学総合研究センター



The Frontier Science Research Center (FSRC) comprises the Department of Bioactive Peptides, the Department of Infectious Diseases and Immunity, the Department of Biotechnology, and the Department of Projects Research. The Department of Biotechnology has four divisions: Bio-Resources, Genetic Resources, Molecular Biology and Analytical Science, and RI Research. FSRC offers broad support for education

and research activities at the University of Miyazaki and also promotes advanced life science research in the fields of bioactive peptides and infectious diseases.

フロンティア科学総合研究センターは、「生理活性物質研究部門」、「感染症免疫研究 部門」、「実験支援部門」及び「プロジェクト研究部門」の4部門で構成されます。本セン ターは生理活性ペプチドの探索と機能解明やゲノム情報を基盤とした感染症や免疫 の研究など、宮崎大学における先端的な生命科学研究を推進するとともに、生物資源、 遺伝資源、分子形態・機能解析、RIの4分野から構成される実験支援部門、およびプロジ ェクト研究部門を通じて、学内の教育・研究活動に対する幅広い支援を行っています。

Center for Collaborative Research and Community Cooperation 産学・地域連携センター

The Center for Collaborative Research and Community Cooperation (CRCC) is playing a central role for collaborative programs carried out with businesses and community members.

産学・地域連携センターは、以下の5部門からなり、産学・地域連携活動の窓口として、産業界ならびに地域社会の振 興に貢献します。

The CRCC is composed of five sections handling the following tasks:

- 産学連携部門 大学と学外企業との共同研究等をコーディネート 1. Collaborating with industrial firms
- 2. Cooperating with local governments and open classes for members of the public 地域連携部門 各自治体との連携協力や公開講座の実施
- 3. Handling intellectual property rights and related issues 知的財産部門 本学における特許等の知的財産の創出と活用
- 4. Cultivating human resources to meet the future 地域人材部門 地域や企業の次代を担う人材の育成・確保の推進 needs of the community and local business.
- 5. Supporting instrumental analysis 連携研究設備ステーション 各種機器分析試験の支援

Center for Animal Disease Control

産業動物防疫リサーチセンター





The mission of the Center for Animal Disease Control (CADIC) is to tackle existing problems of transboundary and zoonotic livestock diseases and the threats likely to impact livestock industries, based on cutting-edge technology and evidence-based strategy. CADIC also aims to contribute to a sustainable society by educating future generations of researchers, livestock farmers, and people involved in the food industry.

産業動物防疫リサーチセンターは、2011年10月に国際水準の産業動物に関する教育・研究 体制の確立を目指して設置されました。

More specifically, CADIC aims to develop the following: 活動内容

- 1. Countermeasures to prevent emerging and transboundary infections
- 2. Epidemiological methods, disease control, investigation, and eradication
- 3. New diagnostic procedures for emerging animal infectious diseases
- 4. International education programs
- 5. A sustainable livestock industry

新興感染症および越境性感染症に対する防疫戦略の策定

疫学手法、感染症制御に関する開発研究

重要な家畜伝染病の新たな診断法開発に関する先端的研究

産業動物防疫に関するグローバル人材育成教育プログラムの開発

家畜生産基盤の強化に基づく持続的産業動物生産戦略の策定

Center for Education and Student Support 教育・学生支援センター



The Center for Education and Student Support conducts research for improving the quality of university education as well as students' learning environment. The center also conducts programs for faculty development and provides various practical student services.

教育・学生支援センターは、大学教育の在り方に関わる研究を中心に大学教育の質の向上、学習環境の充実及び FD を推進する教育企画事業と、課外活動、生活支援及びキャリア支援に関する学生支援事業を推進しています。

Center for Language and Cultural Studies 多言語多文化教育研究センター



The purpose of the Center for Language and Cultural Studies is to promote education based research on a variety of languages and cultures to foster internationally-minded citizens. The Center aims to contribute to the development of a globalized society. By collaborating with other faculties and departments, the Center provides extra-curricular activities including language learning, cross-cultural understanding, and language proficiency test preparation for both students and faculty members. The Center also facilitates Japanese education for international students in order to support their study and life in Japan.



多言語多文化教育研究センターは、各国の言語や文化に関する研究に基づく教育を推進し、国際性豊かな人材を育成するとともに、その成果を還元することにより社会の発展に寄与することを目的としています。関係部局と連携して専門分野を含めた多言語多文化に関する様々なプログラムを企画・実施し、学生・教職員を対象に課外語学プログラムの開講、資格試験や留学・研修に向けた語学学習の指導、異文化理解を促す取り組み等を積極的に行っています。外国人留学生の学習や生活を支える日本語教育にも力を入れています。

Health Care and Safety Center 安全衛生保健センター



The Health Care and Safety Center provides first-aid treatment for injuries and illnesses, as well as giving advice on lifestyle-related diseases and offering counseling for mental problems. It also engages in safety awareness activities for prevention of accidents during experiments, research, and other work, and formulates various safety manuals.

安全衛生保健センターは、急病やけがの応急処置をはじめ、生活習慣病に対するアドバイスや心理・精神的な問題に対するカウンセリング等を行っています。また、実験・研究中や作業中の事故を防止するための啓発活動や各種安全マニュアルの策定等も行っています。

Office of Support for Students with Disabilities 障がい学生支援室

The Office of Support for Students with Disabilities provides the individual support necessary for each student with a disability in collaboration with the teaching staff of the relevant faculty.

Also, it liaises with and coordinates activities among the supporting staff, faculty administrators, and course lecturers in order to support students with disabilities in their studies and to facilitate their student lives.

障がい学生支援室では、障がいのある学生一人ひとりに必要な支援を、所属学部の教員等と一緒に考え、提供しています。また、障がいのある学生への修学・学生生活支援が円滑に行われるように、サポートスタッフ、学部担当者、授業担当教員等との連携やコーディネイトの役割を担います。

Center for the Promotion of Institutional Research IR推進センター

The Center for the Promotion of Institutional Research is a university organization whose aims are to collect information on education, research, social contribution, and university administration at the University of Miyazaki in a form that is easy to use, and to support strategies and decision making for the university's targets, plans, and operating policies.

From a diverse perspective, the center provides many services to actively support the education, research, and social contribution activities of the University of Miyazaki, including analyzing university affairs and the job-seeking activities of students and improving follow-up systems, as well as collecting and analyzing data on the teaching capabilities and research performance of academic staff to use for policy development to enhance the university's social contribution.

IR 推進センターは、宮崎大学における教育・研究・社会貢献・大学経営等に関する情報を利用しやすい形で蓄積し、それらを的確かつ適切に整理・分析して大学構成員に提供し、大学の目標・計画、運営方針の策定及び意思決定を支援することを目的に設置された組織です。

宮崎大学学生の学務・就職等の情報を分析して、学生のフォローアップ体制を改善したり、宮崎大学教員の教育力・研究力に関する情報を蓄積・分析して、社会貢献のための方策策定に利用するなど、様々な視点から宮崎大学の教育・研究・社会貢献活動を活発にするための業務を行っています。

Information Technology Center 情報基盤センター

The Information Technology Center has the following functions.

- 1. To plan, implement, and check ICT policy
- 2. To improve and maintain an ICT infrastructure
- 3. To support users of ICT systems
- 4. To enhance ICT security

The Information Technology Center ensures that a safe and comfortable education and research environment is provided to students and faculty at the University of Miyazaki.



情報基盤センターは、大学全体の情報施策の立案・策定、点検・検証及び情報基盤の整備、運用管理を行うとともに、情報利用者の支援と情報セキュリティの向上を目指します。

Center for International Relations | 国際連携センター

Following the motto, "Look at the World, Start with the Community," the University of Miyazaki focuses on four international projects:

Four international projects: 四つの柱

- 1. Academic research exchange
- 2. Student exchange
- 3. International cooperation for developing countries
- 4. Supporting the internationalization of the local community

Toward that end, we are actively engaged in exchanges with universities around the world.

The Center for International Relations, in charge of international projects at UoM, has two sections: International Cooperation and International Student Support. The International Cooperation Section addresses such specific issues as health care, the Asia Arsenic Mitigation Project, and agricultural development in developing countries. The International Student Support Section is responsible for the Japanese Studies Student Exchange, and Double Degree Programs, as well as public relations and student counseling.

The center also provides comprehensive support to exchange students and foreign researchers.

宮崎大学は、「世界を視野に 地域から始めよう」のスローガンのもと、国際事業として4つの柱を据え、世界各国の大学等と活発な交流を展開しています。

学術交流(研究者交流) 学生交流 国際協力(途上国支援)

地域の国際化への貢献

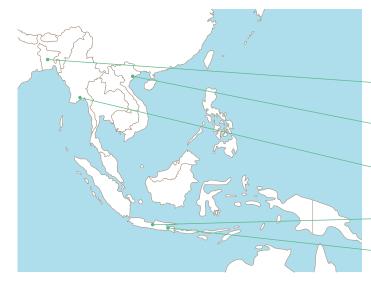




宮崎大学の国際事業を担当する国際連携センターは「国際協力部門」と「留学生支援部門」から成り、国際協力部門では保健医療、アジア砒素汚染対策、農業開発の各分野を、留学生支援部門は、日本語日本事情教育、国際広報、学生プログラム、生活指導の各分野を担当しています。

また、国際連携センターでは、外国人研究者と外国人留学生に対するワンストップサービスを実施しています。

Overseas Office | 海外オフィス



UoM has five overseas offices that support academic and student exchanges

宮崎大学は下記の海外拠点を設置し、本学と各大学との学術交流・ 学生交流を積極的に支援しています。

- B-JET Bangladesh Office (North South University,Bangladesh) バングラデシュオフィス(ノースサウス大学内(バングラデシュ))
- Hanoi Office (Vietnam National University of Agriculture, Vietnam) ハノイオフィス(ペトナム国立農業大学内(ペトナム))
- Yangon Office (University of Computer Studies, Yangon, Myanmar) ヤンゴンオフィス(ヤンゴンコンピュータ大学内(ミャンマー)
- Yogyakarta office (Gadjah Mada University, Indonesia)ジョグジャカルタオフィス(ガジャマダ大学内(インドネシア)
- Malang Office (University of Brawijaya, Indonesia) マランオフィス(ブラウィジャヤ大学内(インドネシア))



Hanoi Office (Vietnam National University of Agriculture, Vietnam) ハノイオフィス(ベトナム国立農業大学内(ベトナム))



Yangon Office (University of Computer Studies, Yangon, Myanmar) ヤンゴンオフィス(ヤンゴンコンピュータ大学内(ミャンマー))

Islamic Center | イスラーム文化研究交流棟

The University of Miyazaki established the Islamic Center on its Kibana campus in 2014. The center was established to meet the needs of Muslim students, who make up around a third of all international students at UoM. The center is used for a range of cultural, educational, and research activities.

宮崎大学は2014年4月にキャンパス内にイスラーム文化研究交流棟を設置しました。宮崎大学の留学生のうち約1/3の学生はイスラム圏の学生であり、これらの学生からの要望により、交流棟は設置されました。交流棟はイスラーム文化に関する文化、教育、研究活動に利用されています。





International Dormitories | 留学生用宿舎

UoM has a system in place to provide accommodations for international students and researchers at the International Dormitory and Kibana Dormitory on the Kibana campus and the Kiyotake Dormitory on the Kiyotake campus. The accommodations include 121 singe rooms, 2 rooms for married couples, and 2 rooms for families, for a total of 125 units. Each dormitory unit is equipped with furniture and appliances so that students and researchers can focus on their studies right away.

宮崎大学では、外国人留学生・研究者等向けの宿舎として木花キャンパスに国際交流宿舎と木花ドミトリーを、清武キャンパスに清武ドミトリーを整備し、留学生等の受入体制を整えています。単身室121部屋、夫婦室2部屋、家族室2部屋の3タイプ、全125部屋となっており、いずれの部屋にも家具・家電が備え付けられ、すぐに勉強に専念できるような環境となっています。



Kiyotake Dormitory 清武ドミトリー



Kibana Dormitory 木花ドミトリー

International Alumni Association | 留学生同窓会

Over the past 20 years, over a thousand exchange students have studied at the University of Miyazaki. Given this growing number, UoM recognized the need to create networks for alumni who have returned to their home countries. UoM has been strengthening these networks, including the creation of an alumni association in Taiwan in June 2014, one in Indonesia in October of the same year, one in Vietnam in October 2016 and one in Myanmar in January 2020.

宮崎大学では、過去20年間で1000人以上の留学生を受け入れてきました。彼らは、母国に帰国した後、要職について活躍するケースも多く、卒業した留学生のネットワークを強化していくことも重要となります。そこで、2014年6月に台湾で、同10月にはインドネシアで、2016年10月にベトナムで、2020年1月にはミャンマーで留学生同窓会を設立し、海外ネットワークの強化を図っています。









Guide for International Students at UoM」宮崎大学への留学案内

UoM has entered academic exchange agreements with more than 100 institutions around the world. In collaboration with partner institutions, UoM engages in international research and educational activities. Currently, 161 international students from 21 countries are enrolled at UoM (as of October 1, 2021).

宮崎大学は、世界の約100校 以上の大学と学術交流協定を 結び、学生交流や研究教育に 関する協力や交流を行ってい ます。また、世界21ヶ国、161 名の留学生(2021.10.1現在) が本学で学んでいます。



For further information about studying at UoM, please contact us via e-mail at: 留学についてのお問い合わせは

ryugaku@of.miyazaki-u.ac.jp





Student Categories and Admissions | 学生の区分と入学手続き

At UoM, students who are registered in a faculty or graduate school are regarded as regular students. Other students outside these groups who wish to further their education can also be categorized as research students or auditors.

Most classes are conducted in Japanese, so it is preferable to learn Japanese to a satisfactory level before enrolling.

日本において大学の教育・研究の基本組織は学部及び大学院です。

学部及び大学院に在籍する学生を本学では正規生と称していますが、この他にも研究生、科目等履修生等の制度を設け、学問を志す人々のために便宜をはかっています。

本学の授業の大部分が日本語で行われるため、入学前に日本語を習得しておくことが望ましいです。

*For more details on the Examination for Japanese University Admission for International Students (EJU), please visit the Japan Student Services Organization's (JASSO) website: 日本留学試験の詳細は、独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)のホームページ等にて確認してください。

http://www.jasso.go.jp/en/index.html

*For more details on Japanese Language Proficiency Test (JLPT), please visit the Japan Educational Exchanges and Services' (JEES) website:

日本語能力試験の詳細は、財団法人日本国際教育支援協会(JEES)のホームページ等にて確認してください。

http://www.jlpt.jp/e/index.html

Undergraduate Students 学部生

Enroll in one of the university faculties. 大学の学部に入学する学生

Period of enrollment 在学期間	4 years Note: 6 years required for Faculty of Medicine and for Veterinary Medicine, Faculty of Agriculture. 4年 ※医学部、農学部獣医学科は6年
Qualifications 出願資格	Completed 12 years of education outside of Japan 外国において12年間の学校教育を修了した者。
Procedures 出願方法	1. Take EJU (Examination for Japanese University Admission for International Students) held by Jasso (The Japan Student Services Organization) in June or November. 独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」(6月と11月のいずれか)を受験する。
工 願万法	2. Pass the Special Selection for Privately Financed Overseas Students at UoM in February. 宮崎大学が実施する「私費外国人留学生入試」(2月)を受験する。

Conduct research under the guidance of an adviser and seek a Master's degree or a Doctorate degree.

特定のテーマについて、指導教員の指導を受けて研究し、「修士」または「博士」の学位取得を目指す大学院生

Period of enrollment 在学期間	2 years (Master's course), 3 years (Doctoral course) Note: 4 years required for Interdisciplinary Graduate School of Medicine and Veterinary Medicine. 修士課程2年、博士課程3年 ※医学獣医学総合研究科は4年
Procedures 出願方法	Master's course: Completed 16 years of education outside of Japan. Doctorate course: Completed 18 years of education outside of Japan. *Application qualifications, method and entrance examination schedule will differ according to graduate course. *Required documents are curriculum vitae, research proposal, and financial statement. 外国において、16年(修士課程)又は18年(博士課程)の学校教育を修了した者。 ※出願資格、方法及び時期については、研究科により異なります。 ※出願には、履歴書、研究計画書、成績証明書、経費支弁能力証明書などが必要です。

Postgraduate Research Students 研究生

Participate in research work in a specific field under the guidance of an adviser; degree and credits are not awarded.

特定のテーマについて、指導教員の指導を受けて研究する学生

Period of enrollment 在学期間	1 month to 1 year 1月~1年間 ※学位取得及び単位取得を目的としない。
Qualifications	A bachelor's degree or an equivalent qualification. *Application qualifications and method will differ according to faculty or graduate course. *Required documents are curriculum vitae, research proposal, and financial statement.
出願資格	大学を卒業した者、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者。 ※出願資格、方法及び時期については、学部により異なります。 ※出願には、履歴書、研究計画書、成績証明書、経費支弁能力証明書などが必要です。

Auditors 科目等履修生

Part-time students who choose to attend some classes. いくつかの授業科目を選んで受けるパートタイムの学生

Period of enrollment 聴講期間	One semester or two semesters (one year). *Required documents are curriculum vitae, research proposal, and financial statement. **Postgraduate research students and auditors must participate in a minimum of 10 hours per week of classes or research. 前期・後期もしくは1年間 ※出願には、履歴書、研究計画書、成績証明書、経費支弁能力証明書などが必要です。 ※※研究生・科目等履修生は、週10時間以上研究または聴講することになっています。
------------------------------	--

Tuition & Fees 授業料

	Examination Fee	Entrance Fee	Tuition
Undergraduate Students 学部生	17,000 yen	282,000 yen	267,900 yen (each semester)
Undergraduate Students 子即主	17,000 yell	202,000 yen	535,800 yen (yearly)
Graduate School Students 大学院生	30,000 yen	282,000 yen	267,900 yen (each semester)
Graduate Scribbi Students 大字院主	30,000 yen	202,000 yen	535,800 yen (yearly)
Postgraduate Research Students 研究生	9,800 yen	84,600 yen	29,700 yen (one month)
Auditors 科目等履修生	9,800 yen	28,200 yen	14,800 yen (for one credit)

^{*}All fees are subject to change.

Study and Funding | 日本留学の種類

There are four different ways for international students to study in Japan, depending on the type of funding they receive and the length of their study. 日本への留学には、以下の4つの形があり、それぞれ留学経費の手当の仕方や期間が異なります。

Japanese government-funded 国費外国人留学生	Students who are selected by either the embassy or their home university to receive scholarships and flight expenses from the Japanese government. 大使館または大学推薦により選考され、日本政府から奨学金や渡航費等の援助をうける留学生。
Overseas government-funded 外国政府派遣留学生	Students who receive study expenses from the Malaysian, Indonesian, or other governments to train at Japanese Language schools or universities.
	マレーシア・インドネシアなど各政府の留学経費の負担により、日本語等の予備教育機関及び大学等に受け入れられた留学生。
Exchange students	Students at universities with which UoM has an exchange agreement can study for a semester or more, within one year in principle, and obtain credits at UoM. The aim is not to obtain a degree but to experience campus life, language, and culture in Japan.
短期留学生(交換留学生)	主に大学間交流協定等に基づいて母国の大学に在籍し、学位取得を目的とせず、日本の大学等における学習、異文化体験、語学の習得などを目的として、概ね1学年以内の1学期又は複数学期、日本の大学等で教育を受けて単位を修得し、又は研究指導を受ける留学生。
Privately funded 私費留学生	All other international students 上記以外の留学生。

Short-term Student Exchange Program | 短期研修プログラムによる学生相互交流

Student Exchange Program (1): Between the UoM and partner universities 学生相互交流①:大学間交流協定校

UoM runs a one- to two-week course in Miyazaki for students of Vietnam National University of Agriculture in Vietnam, Nanjing Agricultural University in China, Infrastructure University Kuala Lumpur, and other universities.

宮崎大学では、大学間交流協定校であるベトナムのベトナム国立大学、中国の南京農業大学、マレーシアのインフラストラクチャー大学クアラルンプール等との間で1~2週間程度のプログラムによる学生交流を実施しています。

Student Exchange Program (2): Between Faculties 学生相互交流②:部局間交流協定校

Faculty of Medicine at UoM conducts a short-term exchange program for medical and nursing students with Prince of Songkla University in Thailand, Shanghai Jiao Tong University School of Medicine and Wenzhou Medical University in China, National Cheng Kung University in Taiwan and University of Cagliari in Italy.

宮崎大学医学部とプリンス・オブ・ソンクラ大学(タイ)、上海交通大学医学院、温州医科大学(中国)、国立成功大学医学院(台湾)、並びにカリアリ大学 (イタリア)との間で、医学科、看護学科の学生を対象とした短期研修プログラムを実施しています。

Summer Program サマープログラム

The University of Miyazaki offers a three-week summer program for international students. The program includes four types of classes: (1) Japanese language, (2) Japanese culture, (3) Japanese seminar, and (4) laboratory research.

宮崎大学は外国人留学生を対象に 3週間のサマープログラムを提供し ており、ここでは、①日本語、②日本 文化、③日本語演習、④ラボ・リサー チの4つのクラスを開講しています。

Due to concerns over the spread of Coronavirus, we regretfully announce the cancellation of Summer Program. コロナ渦のため中止しています。





- 1. The Japanese language class is designed for beginner-level students of Japanese.
- 2. The Japanese culture class provides students with an opportunity to gain an
- understanding of Japan through such first-hand experiences as visits to historical sites, participation in community festivals, tea ceremony, flower arrangement, and even a weekend homestay.
- 3. The Japanese seminar course allows students to proactively learn about Japanese language and culture.
- 4. In the laboratory research class, undergraduate students wishing to advance to the postgraduate level receive small-group lectures from the university's postgraduate teaching staff and gain laboratory experience. The lab classes are conducted primarily in English. The topics are adapted to each participant's research interests. For more details on course content, please visit the university website: http://www.of.miyazaki-u.ac.jp/~kokusai/englishpage/index.html
- 1 日本語クラスは、ビギナー向けの日本語を学ぶクラスです。
- ② 日本文化クラスは、茶道や華道などの日本の伝統的な文化体験や地 域の祭りへの参加、遺跡の見学や週末のホームステイなどを通し て、日本を理解するためのクラスです。
- ③日本語演習クラスは、日本語・日本文化を主体的に学ぶクラスです。
- ④ ラボ・リサーチクラスは、大学院を希望する学部生等を対象に、本学 の研究科の教員から少人数での講義を受け、ラボラトリーの体験を するクラスです。クラスは主に英語で実施され、各研究分野の教員 が希望者に応じて開講する形をとっています。(開講されるコース 内容は、本学ホームページで確認して下さい。)

Winter Program ウィンタープログラム

The University of Miyazaki provides a two-week winter program for international students with courses on Japanese language and culture. The program includes a weekend farm-stay in the countryside and other field trips, as well as many hands-on activities to learn more about Japanese culture.

宮崎大学は外国人留学生を対象に、2週間のウィンター プログラムを提供しており、日本語・日本文化の授業を開 講しています。週末には農村民泊体験など、日本文化を理 解するための体験プログラムが多く組まれています。





Due to concerns over the spread of Coronavirus, we regretfully announce the cancellation of Summer Program. コロナ渦のため中止しています。

Campus Life-Support for International Students キャンパスライフ~留学生支援~

Scholarships 奨学金

The following scholarships are provided for international students studying at UoM:

本学の留学生が受給している主な奨学金は次のとおりです。

Japanese government scholarships, Honors Scholarship for Privately Financed Students, Rotary Yoneyama Memorial Foundation Scholarship, Konan Asia International Foundation Scholarship, Heiwa Nakajima Foundation Scholarship, JGC-S Scholarship Foundation Scholarship, Kawashima Shoji Commemorative Scholarship

文部科学省奨学金、私費留学生学習奨励費、ロータリー米山記念奨学会奨学 金、興南アジア国際奨学財団奨学金、平和中島奨学金、日揮・実吉奨学会奨学 金、川嶋章司記念スカラーシップ基金等

Tuition Exemption 授業料免除

An international student enrolled as a regular student at UoM who has an excellent academic record but finds it difficult to pay tuition due to unavoidable circumstances may apply for an exemption. If selected, he or she may be provided a tuition discount of 100,000 yen or 200,000 yen or a full tuition exemption for the semester in question (this system does not apply to research students or auditors).

本学に入学後、学業成績が優秀で、かつやむを得ない理由によって 授業料の支払いが困難な者については、出願があれば選考のうえ、そ の学期の授業料のうち10万円、20万円又は全額を免除することがあ ります。(研究生・科目等履修生は免除の対象外です。)

Medical Support 医療補助

Students who have had an accident or suffer from illness can receive treatment equivalent to hospital care from doctors, counselors, and nursing staff at the Health Care and Safety Center on campus.

Students who receive medical treatment in a hospital in Japan for illness or injury will be charged 30% of the medical fee (provided the student joins the National Health Insurance).

学生のけがや病気については、学内にある安全衛生保健センターにて、医師、カウンセラー、看護師によって、病院と同様の診断・治療をうけるこ とができます。

病院で受診する場合の個人負担は医療費の30%です。(ただし、国民健康保険に加入していることが条件です。)

Classes in Japanese Language and Culture in Japan 日本語・日本事情クラス

UoM also offers a range of courses in both semesters on Japanese language and society, as well as courses offering internship experiences. 学生のレベルや目的に応じて、各学期に日本語授業と日本事情のクラスを開講しています。また、インターンシップを体験できる授業も行っています。

Tutor System チューター制度

Some Japanese students at UoM are selected to act as tutors and offer their support to new international students by helping them with Japanese language study and adjustment to daily life.

本学の日本人学生から選ばれたチューターが、来日した留学生に対して、日本語や日本で の生活をサポートします。



Student Residence and Housing Compensation System

宿舎および住宅補償制度

UoM provides accommodation for international students at the International House and Dormitories.

It is also possible for international students to live in municipal housing or private apartments close to campus, in which case they can subscribe to the Comprehensive Renters Insurance for Foreign Students Studying in Japan that aims at protecting students and reducing the burden on the guarantor.

宮崎大学では留学生に対して 寮を提供しています。

また、大学近くの県営および市 営住宅、または民間アパートへの 入居も可能です。この場合、万一 の災害に対する備えと保証人の 負担軽減をする必要があるため、 「留学生住宅総合補償制度」に加 入していだだきます。



	, ,	e of Roc 図屋の種類	Monthly Rent 寄宿料	
International House 国際交流宿舎	Single Rooms 単身用			4,700 yen
	Couples' Rooms 夫婦用		夫婦用	9,500 yen
	Family R	ooms	家族用	14,200 yen
Kibana Dormitory		木花ドミ	ミトリー	24,000 yen
Kiyotake Dormitory		清武ド	ミトリー	25,800 yen

Cooperation with various International Exchange Organizations

各種国際交流団体との協力



UoM provides support and guidance to the Miyazaki University Foreign Students Association (MUFSA) in an advisory capacity. In addition, we cooperate with other international exchange organizations off campus to promote the welfare of international students in Miyazaki and contribute to international understanding in the region as a whole, offering activities such as visits to schools or Japanese families, etc.

宮崎大学では「外国人学生会(MUFSA)」の活動をサポートしています。

また、学外の国際交流活動を行う団体と協力して、地域における留学生支援を促進するととも に、地域社会の国際理解に貢献しています。(学校訪問、ホームビジット等)

Living Expenses 生活費

The table to the right shows typical monthly living expenses for an international student living in university dormitory. Living in an apartment may increase monthly expenditures by 25,000 to 45,000 yen.

大学の寮で暮らす留学生の1ヶ月の生活費の例です。アパートに住むと25,000~45,000円ほど支出が高くなります。

Income 収入			Expenditures 支 出			
Allowance	仕送り	40,000 yen	Lodging (Including expenses for electricity, fuel, and water) 寄宿寮(光熱水費	貴を含む)	24,000 yen	
Part-time job	アルバイト	32,000 yen	Meals	食費	20,000 yen	
			Mobile phone 携	帯電話代	7,000 yen	
			Convenience goods	生活雑費	4,000 yen	
			Educational materials	教材費	5,000 yen	
			Entertainment	娯楽費	10,000 yen	
			National Health Insurance 国民	健康保険	2,000 yen	
Total	計	72,000 yen	Total	計	72,000 yen	

Message for Prispective Students 留学をお考えの皆様へ



Niroshan G. Punchihewa

Interdisciplinary Graduate School of Agriculture and Engineering



Sri Lanka

University of Miyazaki (UoM) does not only offer you education in your respective disciplines but also grooms your intellect. I have been living in Miyazaki more than 5 years, completed my master's degree and currently pursuing doctoral course as a 3rd year student. The More I stay in Miyazaki, the less I want to leave.

UoM facilitates fully equipped laboratories, state of the art technologies and well experienced academic staff. The majority of research is focused on improving and sustaining the lifestyle of the locals, which eventually will be shared with the world. My academic advisors are very helpful to continue my research work with confidence. Non-academic staff is also helpful and special attention is given for foreign students to make

sure that we are enjoying our lives at UoM.

UoM is surrounded by astonishing nature. Mountains, rivers, beautiful beach, and warm weather are just more than what you could expect if you are an outdoor person. My weekend gets busier every time. I find new places to run, go hiking and camping with friends, play baseball with local teams, and all the entertainment is for free.

I could write pages about the amazing experience that you could get at UoM and in Miyazaki, but why don't you come and experience it by yourself?



Isakwisa Gaddy Tende Interdisciplinary Graduate School of Agriculture and Engineering





I am a third year PhD student at the University of Miyazaki (UoM). I also hold a Master's degree from the University of Miyazaki.

For prospective students, UoM can be the best destination for your studies. Academically, UoM is one of the best universities in Japan. It has state of the art research and teaching facilities to help you gain new skills with guidance from skilled professors.

Miyazaki is also a beautiful city with a lot of sightseeing spots and delicious local Japanese food. The kind local communities are also always there to help you in your daily life.

Living in Miyazaki will also present you with a nice opportunity of learning new culture such as Japanese language and Japanese business manners which can help you to establish academic or business cooperation between your country and Japan in future.



Xie Hui Interdisciplinary Graduate School of Agriculture and Engineering



I am delighted that UoM has given me this opportunity to introduce myself to living in Miyazaki Prefecture. I came to UoM three years ago to start my master's course and now I am well on my way to my PhD. During these three years, despite being far away from the big city, Miyazaki has given me the most wonderful memories of nature and made my otherwise restless life calm and comfortable. If you like the sea, Miyazaki has beautiful coastal roads and seaside shrines; if you like mountains and waterfalls, Miyazaki also has Takachiho, a mythical wonderland that appears in Japanese comics; and of course, if you like food, Miyazaki has top-notch Wagyu beef and yakitori cuisine. Certainly, I am grateful to UoM, the Suzuki Lab and all my

seniors who have supported me in my studies. The enthusiastic help of classmates and teachers did not make it hard for me to live in Japan as a foreigner. I am more grateful to my supervisor Suzuki, who has given me a great learning experience in the field of water environment research by participating in many academic conferences and applying for research projects. These experiences also gave me the self-confidence to work harder to become a researcher in the aquatic environment. Despite this recent pandemic, life at UoM is still enjoyable and energetic.



Putri Damayanti Interdisciplinary Graduate School of Medicine and Veterinary Medicine



I am a second year doctoral student in the public health department of the medical faculty. Japan is one of the best countries in the world in terms of medical standards, public health ideas, and public health policy. Therefore, I thought that Japan was the best place to study public health. At UoM, I have a lot of support from my professors for my research, and Japan's facilities here are great for conducting experiments. All staff are also helpful and friendly to international students. I was so happy to get this opportunity to study at UoM.

Next, let me explain about daily life in Miyazaki. Miyazaki scenery is magical. You will never be bored chilling on the beach in the summer, seeing Sakura (cherry blossom) in the spring, seeing the colors of autumn

and experiencing the chill of winter. Miyazaki is not a crowded city so I can concentrate on my study. Here, nature and culture blend so well. I enjoy learning Japanese culture, I have participated in "Wadaiko" (Japanese drum) and "Ikebana" (Japanese flower arrangement) workshops. As a Muslim woman, I can choose halal food at some groceries and try Japanese food, so Miyazaki is comfortable for me and my family. Miyazaki supports international goodwill. So, try to enjoy your life with new friends from different countries and create some great intercultural exchange. It is a great experience at UoM.



Chalinee Tatiyanukul, Natcha Tatiyanukul

Graduate School of Agriculture



We are first-year master's degree students from Thailand. We have been studying at the University of Miyazaki (UoM) for three years since we were undergraduates. We can say that studying here was a great opportunity in our lives.

Miyazaki is a safe and uncrowded city. It is surrounded by nature, both mountains, and the ocean. We really enjoyed spending time outside in those beautiful sceneries. The weather is also nice and comfortable, you do not need to be afraid of extreme winter here. From our experience, people here are kindhearted and friendly. Even though we are foreigners and not fluent in Japanese, they are willing to help us as much as they can. We

really appreciate it, and we would say that this is a good place for studying and living.

We acquired so much knowledge, experience, culture, and friendship. Apart from academic study, we always practice basketball with the university team, cycling to downtown, and go for a walk. We also take a cycling trip to other cities sometimes. We can say that this town is like our second home. Even though living in this town is completely different from our hometown, our daily lives have become easier as we got used to this city. You will find that this city is a comfortable place to live and study. We are so glad to study abroad here.



Roselyn Yeow May Ching

Faculty of Agriculture



University of Miyazaki is a great university, not only it has great facilities, the professors here are very knowledgeable and supportive of their students, plus the staff members are also very friendly and helpful. It's been almost 3 years since I started studying here and I've had nothing but great experiences.

As a student doing agricultural studies, I also got to experience a lot of hands-on farm work. I was able to do a lot of things in classes such as planting rice, harvesting tomatoes and driving a tractor. It was really an eye-opening experience to learn in the field.

Besides that, Miyazaki is also a great place to live in. The scenery is great, and there are a lot of nature and great tourist attractions to visit. The locals here are also friendly. Living in Miyazaki has been wonderful for me. I would like to bring my family and friends here for a vacation in the future.



Ji-Hyeok Park

Interdisciplinary Graduate School of Agriculture and Engineering



The study life at University of Miyazaki (UoM) will be a good opportunity for development of your knowledge and experience. Especially, if you would like to focus on your research, UoM life has a perfect condition of the academic environment. UoM has friendly and responsible staff who work hard to provide information and opportunity for students, and professional professors will support your research and school life.

On the other hand, in the aspect of the leisure daily life, UoM is surrounded by beautiful natural environments such as mountains and the ocean. If you want to enjoy an activity like a leisure sport, you can easily approach it.

UoM life will provide a good balance of study and daily life like not only knowledge but also various experiences. I believe that studying at UoM is a good choice for prospective students who are looking for an advanced university.



OSAMA AKAK Graduate School of Agriculture

Syrian Arab Republic



My professor profile was the main reason for me to choose the University of Miyazaki to pursue my MA. It is been more than 2 years under his supervision, I can confirm that he is one of the best supervisors if not the best I have ever had. Friends around me have also confirmed that they have similar good experience with their professors. Our departments provide us with mostly everything we might need in our research.

In case of confusion where we need some guidance in different matters a support office would always kindly provide us with all the required information.

We can also practice our favorite sports. We can play football, baseball, tennis, basketball, swimming and others all within the campus. Besides, there are different activities that are held throughout the year. The living expenses are much cheaper than other areas in Japan.

The environment is very clean and beautifully quiet. It was more than I have expected and for that I am very glad.



— Number of Staff —

(As of May 1, 2021)

President	Auditors	Executive Directors	Professors	Associate Professors	Senior Assistant Professors	Assistant Professors	Research Associates	School Teachers	Administrative Staff	Total
1	2	6	212	186	69	254	4	65	1,492	2,291

— Number of Students —

Undergraduate

(As of May 1, 2021)

Faculties	Enrollme	Current Enrollment	
racullies	New Students	Total	Current Emolinent
Education & Culture			2
Education	120	480	521
Medicine	170	900	923
Engineering	370	1,480	1,564
Agriculture	285	1,200	1,256
Regional Innovation	90	360	378
Total	1,035	4,420	4,644

Graduate (As of May 1, 2021)

Graduate Schools		Enrollme	ent Limit	Current Enrollment			
	Master's Course		Doctoral Course		Master's	Doctoral	Talal
	New Students	Total	New Students	Total	Course	Course	Total
Education					3		3
Medicine and Nursing Science*	10	20			32	2	34
Engineering	134	268			283		283
Agriculture	68	136			135		135
Regional Innovation	5	10			13		13
Medicine and Veterinary Medicine**	10	20	23	92	22	156	178
Agriculture and Engineering***			16	48		92	92
Total	227	454	39	140	488	250	738

^{*}Graduate school of Medicine, Medical Science and Nursing Science, Nursing science

— Number of Graduate Students —

Undergraduate Students (As of May 31, 2021)

Faculties	Total				
Education (Education & Culture)	16,489				
Medicine	5,211				
Engineering	15,787				
Agriculture	16,118				
Regional Innovation	187				
Total	53,792				

Graduate Students

(As of May 31, 2021)

		, ,	51 Way 51, 25217
Graduate Schools	Master's Course	Doctoral Course	Total
Education	584		584
Medicine and Nursing Science*	239	442	681
Engineering	3,734	113	3,847
Agriculture	2,368		2,368
Medicine and Veterinary Medicine**	66	161	227
Agriculture and Engineering***		184	184
Total	6,991	900	7,891

^{*}Graduate school of Medicine, Medical Science and Nursing Science, Nursing science

^{**}Interdisciplinary Graduate School of Medicine and Veterinary Medicine

^{***}Interdisciplinary Graduate School of Agriculture and Engineering

^{**}Interdisciplinary Graduate School of Medicine and Veterinary Medicine

^{***}Interdisciplinary Graduate School of Agriculture and Engineering

— UoM Exchange Students at Partner University (online2020) —

Institution	Country / Region	Sent in 2020
Indiana University of Pennsylvania	U.S.A.	12
Kyungsung University	Korea	3
Total		15





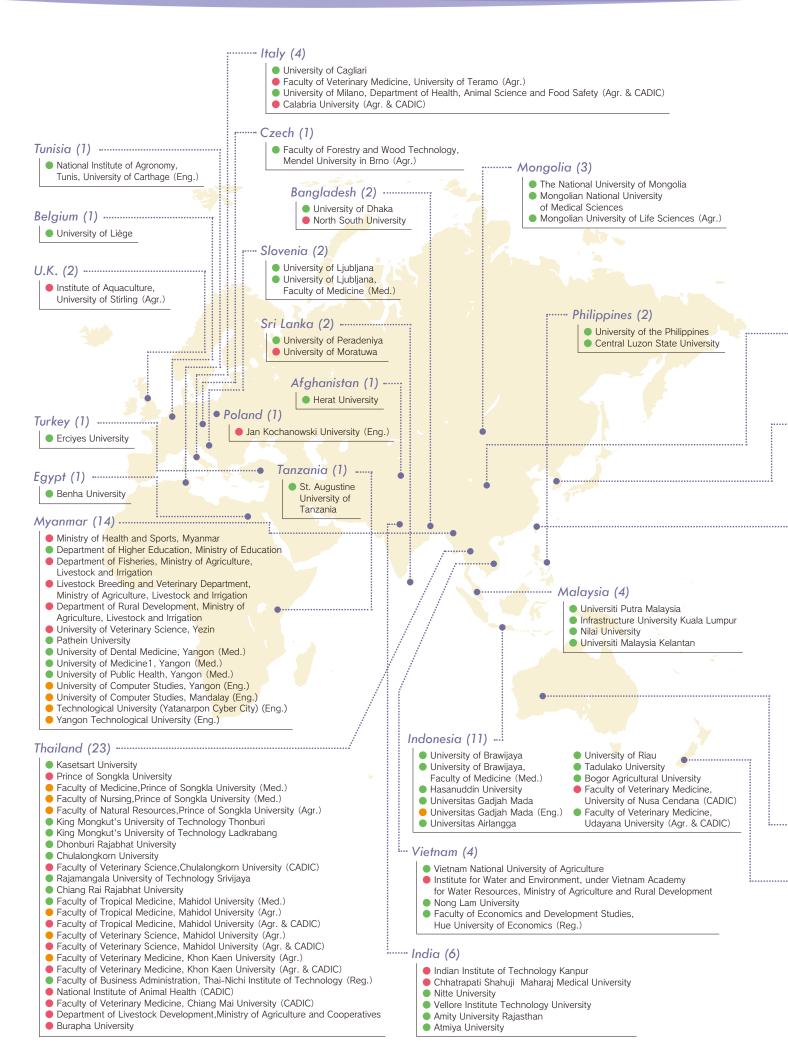


— Number of International Students —

(As of May 1, 2021)

(As of October 1, 2021)

		Cou	irses				Fa	aculti					nanc	ial es			Cou	rses				Fa	culti				Fii Sc	nanc		
Country / Region	Undergraduate	Master's Course	Doctoral Course	Other	Education	Medicine	Engineering	Agriculture	Regional Innovation	Medicine & Veterinary Medicine	Agriculture & Engineering	Japanese Government	Private	Foreign Government	Total	Undergraduate	Master's Course	Doctoral Course	Other	Education	Medicine	Engineering	Agriculture	Regional Innovation	Medicine & Veterinary Medicine	Agriculture & Engineering	Japanese Government	Private	Foreign Government	Total
Afghanistan		1	5	1			1	1		2	2	2	5		7		1	4	1			1	1		3	1	2	4		6
Indonesia		3	17				1	2		7	10	6	14		20		2	14				1	1		5	9	3	13		16
Egypt			5							5				5	5			4							4			1	3	4
Ethiopia			1								1		1		1			1								1		1		1
Guatemala			1								1	1			1			1								1	1			1
Syrian Arab Repubric		1						1					1		1		1						1					1		1
Sri Lanka		1	1				1				1	1	1		2		1	2				1				2	2	1		3
Thailand	8	12	25					37		7	1	5	40		45	25	12	6					37		5	1	2	41		43
Tanzania			1								1		1		1			1								1		1		1
Pakistan			1								1	1			1			1								1	1			1
Bangladesh				4			4						4		4															0
Vietnum		1	3							2	2	3	1		4		1	1							1	1	1	1		2
Peru																			1						1			1		1
Malawi		1						1				1			1		1						1				1			1
Malaysia	10		1	1			9	1	1		1		7	5	12	10		1				8	1	1		1		6	5	11
Myanmar		9	5	1			7	2		3	3	5	10		15		8	6	4	1		8	2		3	4	6	12		18
Mongolia	1		1				1				1		2		2	1		1				1				1		1	1	2
Rwanda		1	1				1			1		1	1		2		1	1				1			1		1	1		2
Korea	4		4	2	1		2	2	1	1	3		10		10	4		4	3	1		2	3	1	1	3	1	10		11
Taiwan			1	1	1						1		2		2			1	1	1						1		2		2
China	4	9	10	1			5	4	3	9	3		24		24	4	9	10	4			7	5	3	9	3		27		27
East Timor		1					1					1			1		1					1					1			1
TOTAL(28)	27	40	83	11	2		33	51	5	37	32	27	124	10	161	44	38	59	14	3		31	52	5	33	31	22	124	9	155



— Academic Exchange Agreement -

The University of Miyazaki (UoM) has concluded an Academic Exchange Agreement with 131 institutions, in 31 countries and regions, as indicated below.

The Academic Exchange Agreement encourages the following activities:

- 1. Exchange of researchers and other research staff
- 2. Conducting collaborative research projects and organizing symposia
- 3. Exchange of research data and materials
- 4. Exchange of students

— Student Exchange Memorandum -

UoM has concluded a Student Exchange Memorandum with 106 institutions, in 26 countries and regions, as indicated below.

Generally speaking, the Student Exchange Memorandum includes the following content:

- 1. Duration of stay
- 2. Number of exchange students
- Exemption from the payment of the entrance examination fee, admission fee, and tuition of the host university

China (12) Nanjing Agricultural University Canadian Food Inspection Agency (CADIC) Qinghai University The Governors of the University of Alberta (CADIC) Northwest A&F University Changsha University of Science & Technology Kunming Medical University U.S.A. (8) Wenzhou Medical University Wenzhou Medical University (Med.) Kansas State University Yanbian University (Med.) Evergreen State College Colleges of Engineering, Indiana University-Purdue University Fort Wayne Chongqing University of Technology (Eng.) University of Toledo North Sichuan Medical College Indiana Úniversity of Pennsylvania Shanghai Jiao Tong University School of Medicine (Med.) University of California, Irvine Qingdao Agricultural University University of California, Davis The University of Hawaii, Manoa Korea (17) Sunchon National University Yeungnam University Chonbuk National University Center for Poulty Diseases Control, Chonbuk National University (CADIC) Kyungpook National University Brazil (2) Pai Chai University Federal Rural University of the Semi-arid Region Busan University of Foreign Studies Instituto Biológico of Sao Paulo/Paurista Agency of Andong National University Agribusiness-Apta/Government of Sao Paulo (CADIC) Gangneung-Wonju National University Kyonggi University Chungbuk National University Hospital (Med.) College of Fisheries Sciences, Pukyong National University (Agr.) Aquaculture Research Department, National Institute of Fisheries Science (Agr.) Farm Animal Clinical Research and Training Center, Seoul National University (CADIC) Kyungsung University Chungnam National University Duksung Women's University Taiwan (11) Kainan University Soochow University Uruguay (1) Da-Yeh University National Pingtung University of Science and Technology University of the Republic National Chengchi University National Chiayi University National Pingtung University National Cheng Kung University (Med.) College of Medicine, Kaohsiung Medical University (Med.) College of the Humanities and Social Sciences, Kaohiung Medical University (Med.) Taipei Medical University Australia (1) Peru (5) University of Melbourne, Universidad Peruana Cayetano Heredia

Abbreviation

New Zealand (2)

Ara Institute of Canterbury

Academic Exchange Agreement

Auckland University of Technology

- Student Exchange Memorandum
- Academic Exchange Agreement & Student Exchange Memorandum

Faculty of Science and Melbourne School of Engineering (Eng.)

Agr. (Faculty of Agriculture)

Eng. (Faculty of Engineering)

Med. (Faculty of Medicine)

Reg. (Faculty of Regional Innovation)
CADIC (Center for Animal Disease Control)

Faculty of Medicine,

National University of San Marcos

Universidad Nacional Agraria La Moline

Universidad Peruana Cayetano Heredia (Med.)

The Institute of Tropical Medicine "Alexander von Humboldt"

of the Universidad Peruana Cayetano Heredia (Med.)

(April 1, 2019-March 31, 2020)

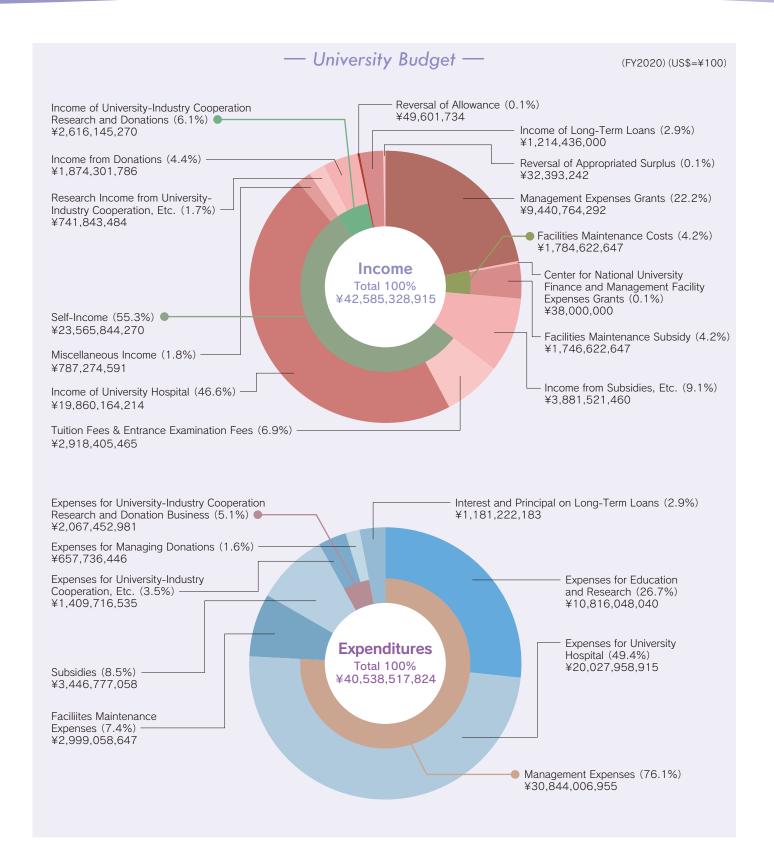
— Exchange of Researchers —

	Medicine	Education Medicine Engineering Agriculture	Agriculture	Regional Innovation	Center for International Relations	Center for Center for International Animal Disease Control	Center for Language and Cultural Studies	뜨늗	Frontier Science Research Center	other	Total	=
Received Sent Received Sent Received Sent Received Sent	Received	Sent	Received Sent	Received Sent	Sent Received Sent	Received Sent	Sent Received Sent Received Sent Received	Received Sent	Received Sent Received	Received Sent	Received	Sent
-												
1											1	
-											_	
			1								_	
			4								4	
2 1	1		വ								∞	

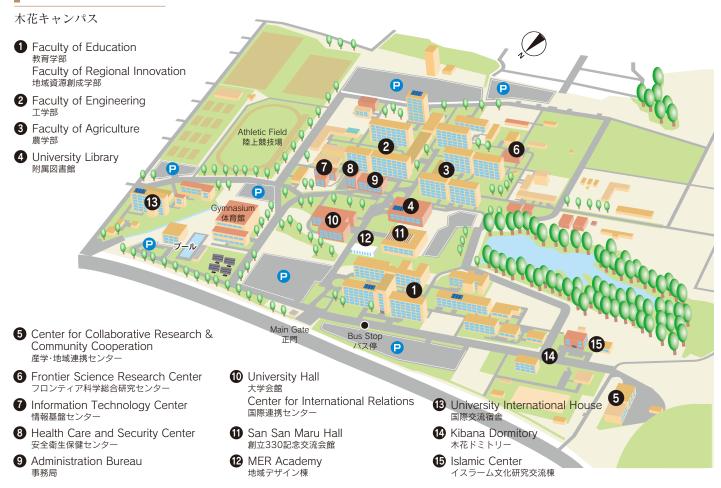
— University Income / Expenditures (2020)

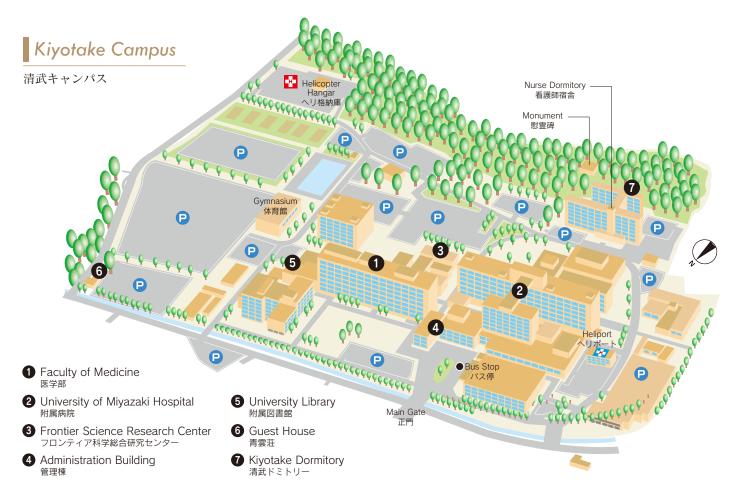
	Income	(yen)	
Management Expenses Grants		9,440,764,292	
	Center for National University Finance and Management Facility Expenses Grants	38,000,000	Managen
Facilities Maintenance Costs	Facilities Maintance Subsidy	1,746,622,647	Faciliites
	Grant from Ministry of Health, Labour and Welfare	0	Subsidies
Management Expenses Grants		3,881,521,460	Expenses
	Tuition Fees & Entrance Examination Fees	2,918,405,465	Research
3100	Income of University Hospital	19,860,164,214	Business
Sell-Income	Income of Property Disposal	0	Interest a
	Miscellaneous Income	787,274,591	Total
Income of University-	Research Income from University-Industry Cooperation, Etc.	741,843,484	(FY2020)
Resarch and Donations	Income from Donations	1,874,301,786	
Reversal of Allowance		49,601,734	
Income of Long-Term Loans		1,214,436,000	
Reversal of Appropriated Surplus	(0)	32,393,242	
Total		42,585,328,915	

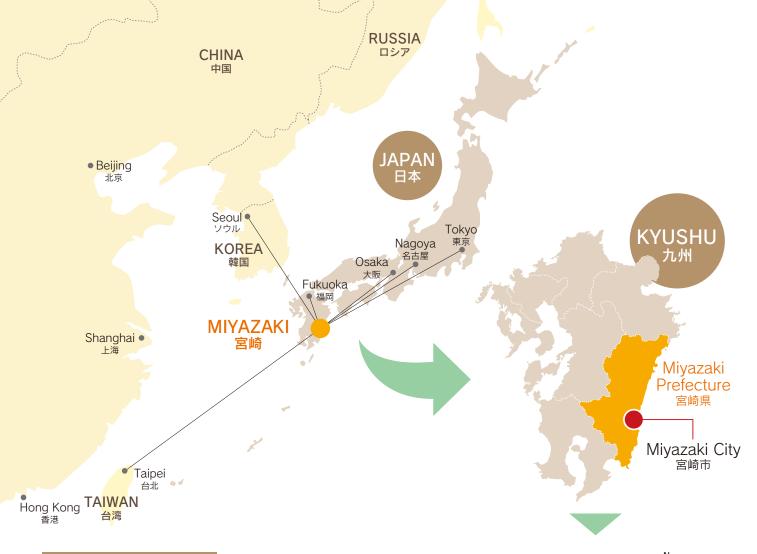
	Expenditures	(yen)
Management Expenses	Expenses for Education and Research	10,816,048,040
	Expenses for University Hospital	20,027,958,915
Faciliites Maintenance Expenses	enses	2,999,058,647
Subsidies		3,446,777,058
Expenses for University- Industry Cooperation	Expenses for University- Industry Cooperation, Etc.	1,409,716,535
Research and Donation Business	Expenses for Managing Donations	657,736,446
Interest and Principal on Long-Term Loans	ong-Term Loans	1,181,222,183
Total		40,538,517,824



Kibana Campus







Getting to Miyazaki

アクセス

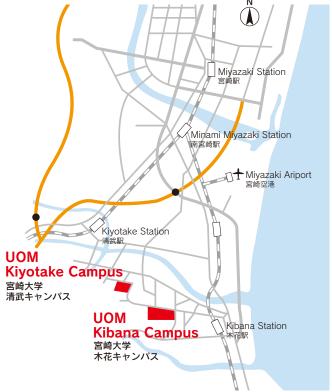
People traveling to Miyazaki from overseas often travel via Tokyo, Osaka, Nagoya, or Fukuoka, but there are direct flights to Miyazaki from South Korea and Taiwan.

Miyazaki Airport is about 15 minutes by car from either campus.

海外から宮崎へ来るには、まず東京、大阪、名古屋、福岡のいずれかに飛ぶことになります。仁川 (インチョン) (韓国)、桃園 (タオユァン) (台湾) から宮崎へは直行便があります。

宮崎空港から両キャンパスへは車で約15分です。

Tokyo 東京(羽田)	100 mins 100分		
Nagoya 名古屋(中部)	80 mins 80分		
Osaka 大阪(伊丹)	70 mins 70分		Miyazaki
Fukuoka 福岡	40 mins 40分	77	宮崎
Seoul ソウル	100 mins 100分		
Taipei 台北	130 mins 130分		



University of Miyazaki 宮崎大学

Address 1-1 Gakuen Kibanadai-nishi, Miyazaki 889-2192 JAPAN URL http://www.of.miyazaki-u.ac.jp/~kokusai/englishpage/index.html 〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地

Center for International Relations 国際連携センター

Tel +81-985-58-7104 Fax +81-985-58-7782 E-mail kokusai@of.miyazaki-u.ac.jp facebook https://www.facebook.com/Miyazaki.U.CIR/

